

消 防 年 報

令和 7 年版（令和 8 年刊行）

入間東部地区事務組合消防本部

は じ め に

この年報は、入間東部地区事務組合消防本部（富士見市・ふじみ野市・三芳町）の消防力の現況と消防防災活動を取りまとめ、消防事情を広く紹介するとともに、今後の防災体制の確立に努め、火災、救急、救助活動などの資料として活用するために収録編さんいたしました。

令和8年8月

入間東部地区事務組合消防本部

職 員 章



職員章は、入間東部地区（IRUMA TOHBU）の頭文字「I・T」を円形にデザインし、組合発足時の構成二市二町（富士見市・上福岡市・大井町・三芳町）を四葉のクローバーとして配し、消防章と合わせ図案化したものです。

円形は組合の団結を表し、四つ葉は発展を象徴しています。

消 防 章



消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、日章を中心にそれぞれホース、管そうと、筒先から放水する水柱を配し、図案化したものです。

入間東部消防歌

1 あさーひーかがや き やま な み て ら し て
 2 しんがしーがわー も めーくーもり て
 3 ちちぶのーかなー た はーるーかふ じ

な が れ る か わ もーに い や は えーる
 み どり の だ い ちーに い や な がーる
 ひ と の す むーまーち い や ひ かーる

き ほ う の さ い た ま か け る ゆ め
 い し え ぶ ん か の む さ し の
 ぜ ん し ん や く し ん ど う ど う の

あーあーいるまとうぶ の ち を ま も
 あーあーいるまとうぶ の ち に つ く
 あーあーいるまとうぶ の ち に い き

る す る わ れ ら らーゆ う き の し ょ う ほー
 わ れ ら らーほ こ り の き ょ う き ょ うー
 わ れ ら らーし め い の き ょ う じ ょ た

た い
 た い
 いー

入間東部消防歌

作詞・作曲 小野 晏敬

一 朝日 輝き 山峰照らし

流れる川面に いや映える

希望の埼玉 かける夢

ああ入間東部の地を守る

われら勇気の消防隊

二 新河岸川も 温りて

緑の大地に いや流る

古代文化の 武蔵野を

ああ入間東部の地に尽す

われら誇りの救急隊

三 秩父の彼方 はるか富士

住民の住む街 いや光る

前進躍進 堂々の

ああ入間東部の地に生きる

われら使命の救助隊

目 次

－ はじめに －		立入検査実施状況・・・・・・・・・・	43
		法令等に基づく各種届出状況・・・・・・・・	44
職員章・消防章・・・・・・・・・・	2	数量別危険物施設現況・・・・・・・・・・	45
入間東部消防歌・・・・・・・・・・	3	危険物施設等事務処理状況・・・・・・・・	46
目次・・・・・・・・・・	4	危険物施設に対する立入検査実施状況・	47
一目統計・・・・・・・・・・	6	自衛消防隊消防操法競技大会状況・・	48
－ 概要 －		－ 警防 －	
構成市町の紹介・・・・・・・・・・	8	消防水利現況・・・・・・・・・・	50
入間東部地区の位置と地勢・・・・・・・・	9	ホース現有数・・・・・・・・・・	50
人口等の推移・・・・・・・・・・	10	車両現勢・・・・・・・・・・	51
現有消防力の人口・世帯・面積の割合・	10	令和7年度導入車両・・・・・・・・・・	53
特別職・歴代消防長・・・・・・・・・・	11	消防相互応援協定等の締結状況・・	54
－ 消防総務 －		－ 指令 －	
消防本部・消防署・分署の配置・・・・・・・・	13	消防通信系統図・・・・・・・・・・	56
機構図・・・・・・・・・・	14	無線局一覧・・・・・・・・・・	57
沿革・・・・・・・・・・	15	覚知方法別災害等受信状況・・・・・・・・	57
事務分掌・・・・・・・・・・	26	気象状況・・・・・・・・・・	58
消防予算・・・・・・・・・・	30	気象情報受理状況・・・・・・・・・・	58
消防庁舎の現況・・・・・・・・・・	31	口頭指導実施状況・・・・・・・・・・	58
階級・年齢別職員構成状況・・・・・・・・	32	－ 火災 －	
階級・勤続年数別職員構成状況・・・・・・・・	33	火災の概況・・・・・・・・・・	60
年度別人口と職員数の推移・・・・・・・・	34	損害額の推移・・・・・・・・・・	61
職員配置状況・・・・・・・・・・	35	火災による死傷者の推移・・・・・・・・	61
職員の教育実施状況・・・・・・・・・・	36	用途別建物火災発生件数・・・・・・・・	61
職員の特殊技能資格状況・・・・・・・・	37	月別火災発生状況・・・・・・・・・・	62
基準消防力と現有消防力の比較・・・・・・・・	38	時間帯別火災発生状況・・・・・・・・	62
消防音楽隊・・・・・・・・・・	39	出火原因別火災発生状況・・・・・・・・	63
－ 予防 －			
防火対象物数（150㎡以上）・・・・・・・・	41		
防火対象物同意状況・・・・・・・・・・	42		

目 次

－ 救急・救助 －

救急業務の実施体制・	65
救急活動概要・	65
年別救急出場件数及び搬送人員の推移・	66
5か年の救急出場の動向・	66
救急出場種別・	67
搬送者傷病程度種別・	67
5か年の事故種別構成比・	68
救急隊による応急処置実施状況・	68
年齢区分別事故種別搬送人員の状況・ .	69
曜日別救急出場件数・	69
月別救急出場件数・	69
時間帯別搬送人員・	70
発生場所別搬送人員・	70
医療機関別搬送人員・	71
他の医療機関への転院搬送依頼件数・ .	71
医療機関別搬送状況・	72
住民に対する応急手当	
普及啓発活動の実施状況・	72
急病に係る疾病分類別年齢区分、	
傷病程度別搬送人員の状況・ . . .	73
現場到着所要時間別状況・	73
収容所要時間別状況・	73
署内救急活動事後事例研究会実施状況・	74
救助統計・	75
主な救助用資機材の保有状況・	76

－ 消防団 －

消防団車庫の現況・配置・	78
消防団の組織・	79
沿革・	80
消防団諮問委員・消防団長・	86
消防団員の定員と実員数・	87
消防団員の配置状況・	87
消防団員の年齢・	88
消防団員の勤続年数・	89
消防団車両現勢・	90

一目統計（一目でわかる入間東部地区事務組合消防本部）

令和8年4月1日現在（災害件数は令和7年12月31日現在）

面積		人口		世帯数		予算
富士見市	19.77km ²	富士見市	113,955人	富士見市	57,227世帯	令和8年度当初予算 39億3,848万8千円 （組合予算の内、消防費・ 消防公債費・諸支出金の合計） 住民1人当たり 約14,830円
ふじみ野市	14.64km ²	ふじみ野市	114,526人	ふじみ野市	56,344世帯	
三芳町	15.33km ²	三芳町	37,137人	三芳町	17,342世帯	
合 計	49.74km ²	合 計	265,618人	合 計	130,913世帯	

署所数		職員数		消防車等		救急車
消防本部	1	定 員	319人	ポンプ車 （非常用を含む）	8台	高規格救急自動車 10台 （非常用を含む）
消防署	2	実 員	303人	化学車	1台	
分 署	3	うち 女性	17人	はしご車	2台	
				救助工作車	2台	
				指揮車	1台	

その他の車両	火災件数		救助件数		救急件数
支援車 資機材運搬車 多目的搬送車 災害用バス 地震体験車 災害用モーターバイク 広報車	46件		331件		16,171件 （1日当たり、約44件）
	建 物 火 災	28件	建 物 事 故	276件	急 病 11,088件 一 般 負 傷 2,328件 交 通 事 故 724件
	車 両 火 災	1件	交 通 事 故	17件	
	その他火災	17件	火 災	29件	

119番通報受信件数	防火対象物数		危険物施設数		消防音楽隊
23,106件 (1日当たり、約63件)	6,198件		製 造 所	8施設	隊 員 28名 (総指揮者・支援隊員含む) R7年度演奏活動 15回
	富 士 見 市	2,551件	貯 蔵 所	220施設	
	ふ じ み 野 市	2,476件	取 扱 所	106施設	
	三 芳 町	1,171件			

概要

構成市町の紹介

入間東部地区の位置と地勢

人口等の推移

現有消防力の人口、世帯、面積の割合

特別職、消防長

構成市町の紹介

富士見市



市章

中央に富士山に見える市ということで富士をおき、周囲に三本の川と旧三ヶ村の合併を意味した円を配し富士見を象徴したものです。



市の木「けやき」

けやきは古くから富士見市に自生しており、現在においても市内でよく見かけ成長が早く雄大な樹姿は、富士見市の発展との結びつきを感じさせる。

昔は一本のけやきが一家の生計を救うこともあったという貴重な木でもある。



市の花「ふじ」

優雅さと気品をそなえており、ひとつひとつの花が集まって咲く様子が、人と人との語り合い団結を感じさせ、富士見市民がひとつひとつの花のように思われます。

ふじみ野市



市章

ふじみ野市の「F」の文字を基調に、輪は市民相互の融和を表し、舟運の面影を残す新河岸川の青と、武蔵野の自然をイメージした緑を配し、萌え出る若葉から鮮やかな緑へと移り変わる様子は、まちと自然の調和を図り躍進していくふじみ野市を表しています。



市指定天然記念物「神明神社のけやき」

苗間神明神社の社殿裏手にあるけやきで、神社の神木とされています。

樹齢は約400年前後と推定され、高さ17m、目通りの周囲は約5m、根回り10m、枝張り9.5mに及ぶ市内最大規模の植物です。



市指定天然記念物「地蔵院のしだれ桜」

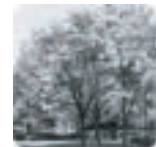
しだれ桜は、春の彼岸に花を咲かせる江戸彼岸桜の変種です。地蔵院境内のしだれ桜は、その大きさ・古さでは市内はもとより近隣でも有名で、樹齢は350年前後と推定されます。

三芳町



町章

三芳町の片仮名「ミヨシ」を円形にデザインし、融和と団結を表し、中央にはばたく鳥を図案化し、町の躍進と産業の発展を象徴しています。



町の木「けやき」

けやきは、町内に多く見られ四季を通じて情緒があり、早春の発芽の美しさは樹形の雄大さと共に関東の風物詩となっています。



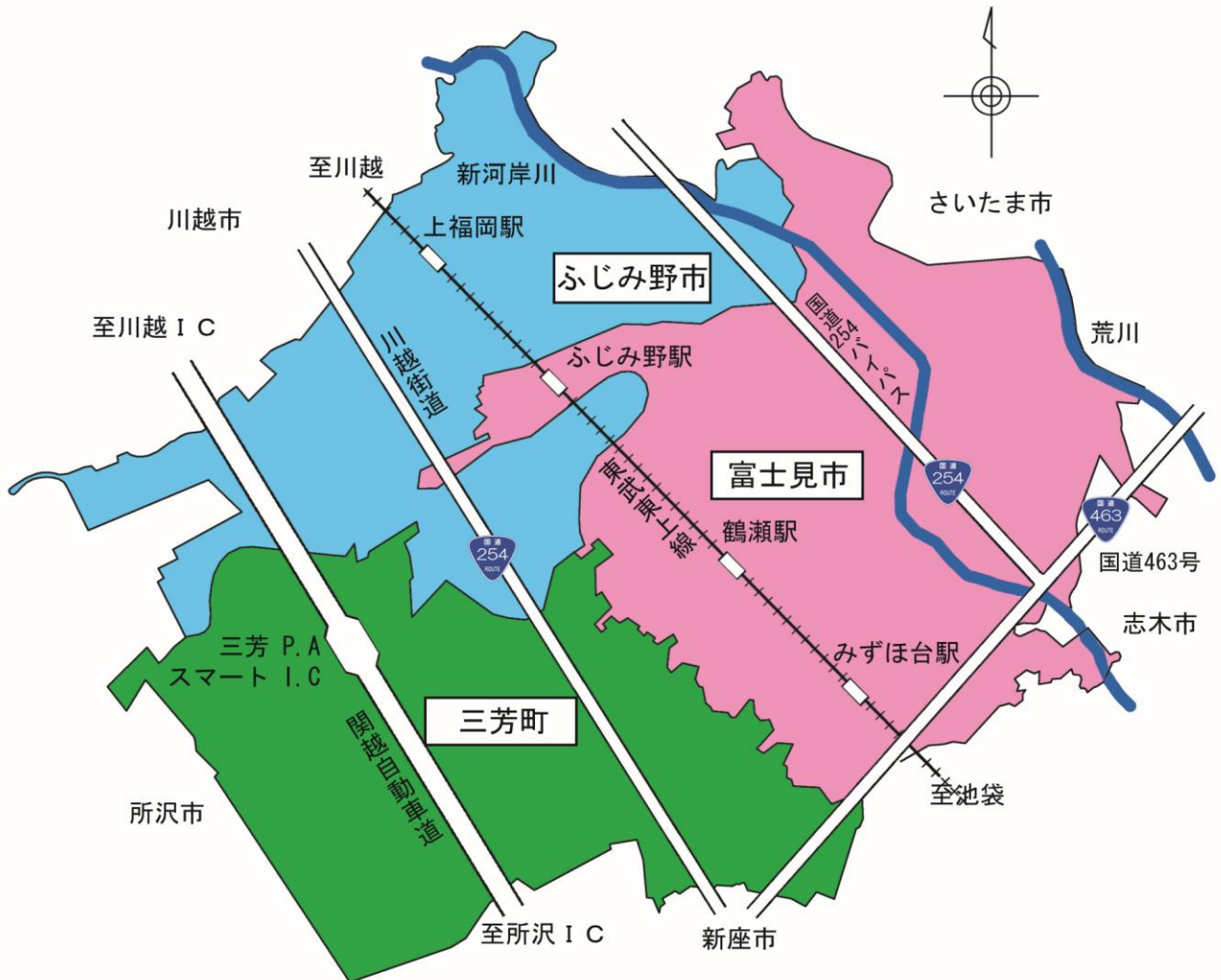
町の花「きく」

きくは、チギリグサ、モモグサなど長寿にちなむ名で呼ばれ、花の中で最も種類が多く四季を通じて町内に豊かな趣をそえています。町民の長寿を願い、春、夏、秋、冬花をみる事のできるきくは、三芳を象徴するにふさわしい花です。

入間東部地区の位置と地勢

入間東部地区管内は、埼玉県の南西部に位置し、富士見市・ふじみ野市・三芳町で構成され、東経139°30'、北緯35°52'に位置し、東は荒川を越えてさいたま市、西は所沢市、南は志木市・新座市、北は川越市に接しています。地勢は、ほぼ平坦な地域で、西から入間台地が広がり、東に荒川低地を擁した火山灰土からなる、関東ローム層の地質からなっています。

また、首都圏30キロメートルの地理的条件に恵まれ、昭和35年頃から東京のベッドタウンとして、人口急増した地区でもあります。



総面積 49.74 km²

(富士見市	19.77 km ²
(ふじみ野市	14.64 km ²
(三芳町	15.33 km ²

東西 10.00 km

南北 8.85 km



人 口 等 の 推 移

各年4月1日現在

年 別	構成市町	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	人口密度／km ² 当り (人)
令和4年	合 計	264,710	124,412	5,329
	富 士 見 市	112,817	54,116	5,727
	ふ じ み 野 市	114,045	53,539	7,774
	三 芳 町	37,848	16,757	2,474
令和5年	合 計	264,791	125,800	5,331
	富 士 見 市	113,089	54,832	5,741
	ふ じ み 野 市	114,048	54,065	7,774
	三 芳 町	37,654	16,903	2,461
令和6年	合 計	265,046	127,439	5,336
	富 士 見 市	113,335	55,603	5,753
	ふ じ み 野 市	114,341	54,859	7,794
	三 芳 町	37,370	16,977	2,442
令和7年	合 計	265,324	129,044	5,342
	富 士 見 市	113,455	56,288	5,759
	ふ じ み 野 市	114,506	55,543	7,805
	三 芳 町	37,363	17,213	2,442
令和8年	合 計	265,618	130,913	5,340
	富 士 見 市	113,955	57,227	5,764
	ふ じ み 野 市	114,526	56,344	7,823
	三 芳 町	37,137	17,342	2,423

現有消防力の人口、世帯、面積の割合

令和8年4月1日現在

区 分	総 数	人 口 (人)	世 帯 (世帯)	面 積 (km ²)
消防職員1人当り	303 人	877	432	0.16
消防ポンプ車1台当り	9 台	29,513	14,546	5.53
救急車1台当り	8 台※	33,202	16,364	6.22
消防署1署当り (分署を含む)	5 署	53,124	26,183	9.95

※日勤救急隊運用車両を除く

管理者・副管理者（令和８年４月１日現在）

管理者	富士見市長	星 野 光 弘
副管理者	三芳町長	林 伊佐雄
	ふじみ野市長	高 畑 博

議員（令和８年４月１日現在）

富士見市	ふじみ野市	三芳町
佐 野 正 幸	前 田 広 子	本 名 洋
村 元 寛	原 田 雄 一	小 松 伸 介
川 畑 勝 弘	川 畑 京 子	林 善 美
篠 田 剛	山 田 敏 夫	池 上 義 典
◎ 田 中 栄 志	○ 塚 越 洋 一	久 保 健 二

◎議長 ○副議長

監査委員（令和８年４月１日現在）

代表	玉 田 修
議会選出	久 保 健 二

歴代消防長

	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	松 本 利 夫	昭和 45 年 11 月 1 日	昭和 55 年 11 月 30 日
第 2 代	青 木 正 三	昭和 55 年 12 月 1 日	昭和 61 年 3 月 31 日
第 3 代	杉 本 正 雄	昭和 61 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
第 4 代	浅 海 伊佐男	平成 9 年 4 月 1 日	平成 18 年 3 月 31 日
第 5 代	長 嶋 亘	平成 18 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
第 6 代	戸 口 守	平成 19 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日
第 7 代	大 島 英 男	平成 25 年 4 月 1 日	平成 26 年 3 月 31 日
第 8 代	長 堀 博 昭	平成 26 年 4 月 1 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 9 代	塩 野 浩	平成 28 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日
第 10 代	玉 田 幸 三	平成 31 年 4 月 1 日	令和 3 年 3 月 31 日
第 11 代	木 村 誠	令和 3 年 4 月 1 日	令和 5 年 3 月 31 日
第 12 代	中 川 一 諭	令和 5 年 4 月 1 日	令和 7 年 3 月 31 日
第 13 代	上 田 安 孝	令和 7 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
第 14 代	大 野 一 郎	令和 8 年 4 月 1 日	

消防総務

消防本部・消防署・分署の配置

機構図

沿革

事務分掌

消防予算

消防庁舎の現況

階級・年齢別職員構成状況

階級・勤続年数別職員構成状況

年度別人口と職員数の推移

職員配置状況

職員の教育実施状況

職員の特殊技能資格状況

基準消防力と現有消防力の比較

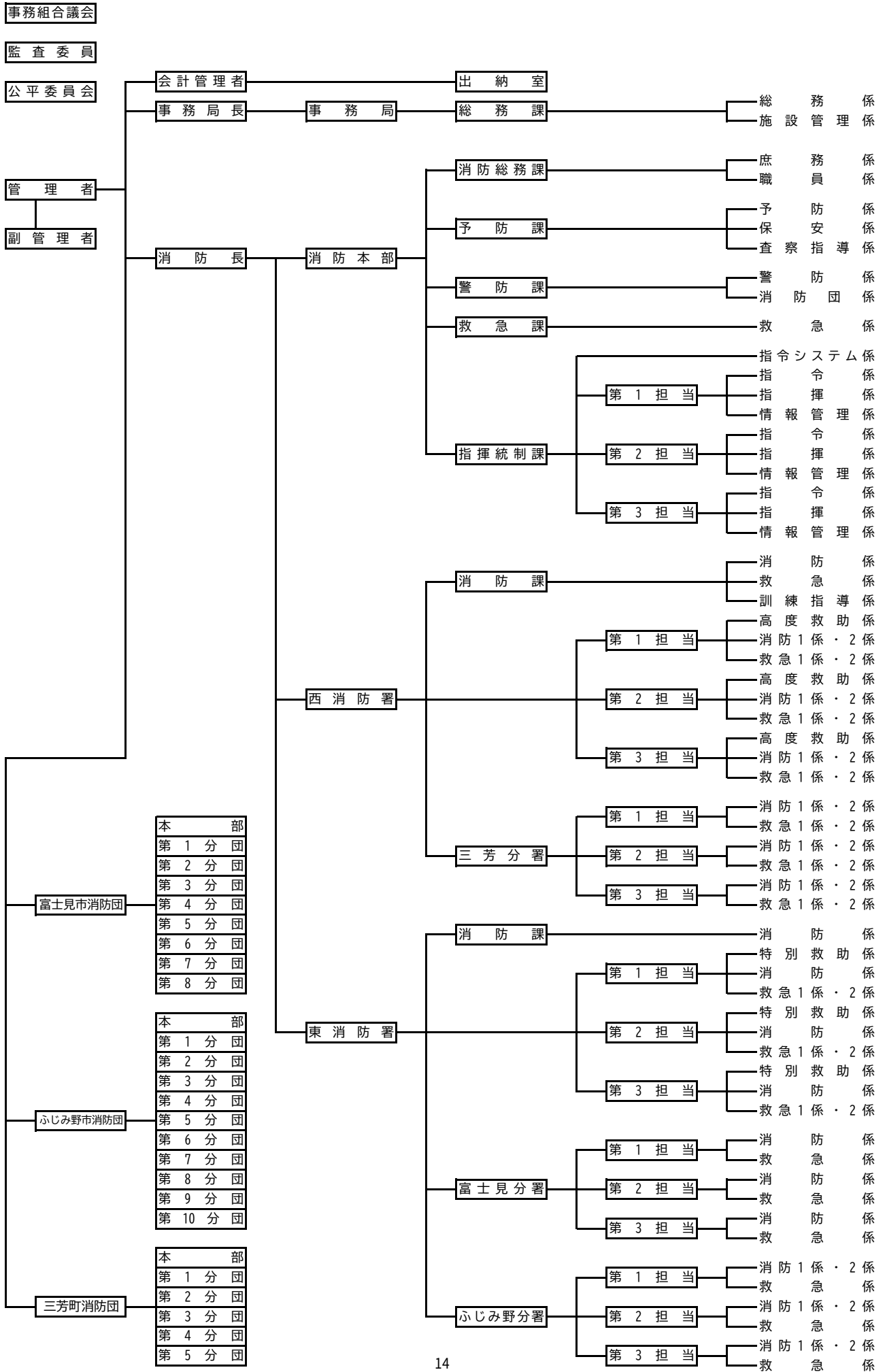
消防音楽隊

消防本部・消防署・分署の配置



入間東部地区事務組合 機構図

令和8年4月1日現在



沿 革

１．入間東部地区消防組合が設立されるまでの沿革

- 昭和４２年 ４月 ・福岡町消防本部、消防署が設立される。
消防職員１６人、消防ポンプ自動車（団）１台を以て、消防業務を開始する。
５月 ・救急自動車（RS46VGクラウンカスタム改）を配備し、救急業務を開始する。
１０月 ・福岡町大字福岡１５００番地５８に、消防本部、消防署庁舎（鉄筋コンクリート２階建、延
308.55㎡）が完成する。
・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・TXGF10型改）１台を配備する。
- 昭和４３年 ４月 ・消防職員実員２０人となる。
９月 ・消防ポンプ自動車（ニッサン・FR40型改）１台を配備する。
１２月 ・消防用超短波無線電話装置（三和・150MLIB）を導入する。
- 昭和４４年 ３月 ・消防職員実員２１人となる。
４月 ・消防職員定数条例を改正し、定員３５人とする。
６月 ・赤パイ（ホンダ・ベンリーCD125）１台を配備する。
７月 ・指令車（ダットサン・ブルーバードP510型改）１台を配備する。
- 昭和４５年 １月 ・日本自動車工業会より、救急自動車（ニッサン・VH130型改）１台が寄贈される。
４月 ・消防職員実員２７人となる。

２．入間東部地区消防組合の沿革

- 昭和４５年 １１月 ・福岡町、富士見町、大井町および三芳町は、広域にわたる消防業務の計画に合意して、消防
の一部事務組合を設立し、名称を「入間東部地区消防組合」と定め、消防本部を福岡町大字
福岡１５００番地５８（旧福岡町消防本部）に置く。
- 昭和４６年 ３月 ・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・TXG10型改）３台を配備する。
４月 ・救急自動車（トヨタ・FS55S型改）１台を配備する。
・消防職員実員４１人となる。
７月 ・予防査察車（トヨタ・コロナバンTA10型）１台を配備する。
・事務連絡車（トヨタ・カリナTA10型）１台を配備する。
１０月 ・富士見町大字鶴馬１４２０番地に富士見出張所仮庁舎を、大井町大字亀久保１２３４番地８
に大井出張所仮庁舎を、三芳町大字藤久保９６５番地９に三芳出張所仮庁舎（軽量鉄筋プレ
ハブ造平屋建、延128.25㎡）を開設し、消防業務を開始する。
１２月 ・１８メートル級はしご付消防ポンプ自動車（ニッサン・TC81H型改）１台を配備し、高
層建物の災害防御の強化を図る。
- 昭和４７年 ４月 ・富士見町、福岡町が市制を施行し、富士見市、上福岡市となる。
・消防職員定数条例を改正し、定員８５人とする。
・消防職員実員６９人となる。
５月 ・女性消防職員２人を採用し、実員７１人となる。
９月 ・可搬ポンプ積載車（トヨタ・UP100型改）２台を配備する。
- 昭和４８年 ４月 ・消防職員定数条例を改正し、定員１３３人とする。
・消防職員実員１０１人となる。
７月 ・可搬ポンプ積載車（ニッサン・UPA321型改）１台を配備する。
１０月 ・埼玉県共済農業協同組合会より救急自動車（トヨタ・RH18V型改）１台を寄贈される。
１１月 ・広報車（ニッサン・キャラバンVE20型改）１台を配備する。

昭和49年	1月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SBR320型改）1台を配備する。
	3月・警防車（トヨタ・パブリカバンKP36V型改）1台を配備する。
	4月・消防職員実員124人となる。
	5月・大井町大字苗間161番地2に、消防本部・消防署の庁舎（鉄筋コンクリート造3階建、延1,084.57㎡）が完成し移転する。
	・旧消防本部・消防署庁舎を上福岡出張所とする。
	9月・消防協会入間東部支部より中型バス（いすゞ・BK32型、42人乗）1台が寄贈される。
昭和50年	10月・救急自動車（トヨタ・RH18V型改）1台を配備する。
	12月・消防本部の組織改正を実施し、従来の庶務係、予防係、警防係を課制とし、新たに企画広報課（企画広報係、査察係、生活安全係）を設け、庶務課（庶務係、管理係）、予防課（予防係、危険物係）、警防課（警防係、調査係、通信指令係）の4課10係とする。
昭和52年	1月・救助工作車（いすゞ・SBR320型改）1台を配備し、救助活動の敏速化と強化を図る。
	3月・地震対策用として、ミニ水そう積載車（トヨタ・KM10型改、水500リットル）1台を配備する。
	4月・消防職員定数条例を改正し、定員162人とする。
	・消防職員実員143人となる。
	6月・上福岡、富士見ロータリークラブより、小型乗用貨物車（三菱・ランサーバンA71V型）1台が寄贈される。
	8月・上福岡出張所を上福岡分署と名称を改める。
昭和53年	9月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SBR320型改）1台を配備する。
	4月・上福岡分署を上福岡出張所と名称を改める。
	5月・富士見市水子2265番地に、みずほ台出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延279.14㎡）が完成し、新設出張所として業務を開始する。
	7月・消防資材運搬車（いすゞ・フラットローTLD23ZN型改）1台を配備する。
昭和54年	11月・消防ポンプ自動車（ニッサン・FHN60型改）1台を配備する。
	12月・指令車（マツダ・ルーチェCLA42S型改）1台を更新する。
	1月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SCR320型改）1台を更新する。
	3月・三芳町大字藤久保965番地9の三芳出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延291.40㎡）が完成する。
昭和55年	・救急自動車（トヨタ・HRH42VB型）1台を更新する。
	4月・消防職員実員159人となる。
	7月・ミニ広報車1台、ミニ警防車1台を配備する。（ダイハツ・バンHS60V型）
	10月・上福岡ライオンズクラブより、軽乗用車（ミツビシ・アミイEA160型改）1台が寄贈される。
昭和56年	4月・消防職員実員160人となる。
	6月・東武不動産株式会社より、救急自動車（トヨタ・FS55V型改）1台が寄贈される。
	7月・東武不動産株式会社より、水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SCR371型改）1台が寄贈される。
	8月・予防査察車（ニッサン・ブルーバードバンHVJ810型改）1台を更新する。
昭和57年	11月・消防本部、消防署の組織改正を実施し消防本部に次長制を敷き、従来の4課を庶務課（庶務係、管理係）、消防課（予防係、保安係、警備係）、広報課（広報係、生活安全係）の3課7係とした。消防署の署長を専任とし、署に5係（庶務、予防、警備、機械、通信指令）を置き、職員8人を配置する。
	2月・炊飯設備を装備した救援車（いすゞ・TLD34型改）1台を配備し、消防職団員の長時間にわたる災害活動の現場において非常食等を賄えるようにする。
	4月・消防署通信指令係を消防本部通信指令室に組織改正する。
	6月・事務連絡車（トヨタ・カリナETA41型）1台を更新する。
昭和58年	10月・消防職員定数条例を改正し、定員177人とする。
	11月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・KSSM4510型改水10トン）1台を配備する。

昭和56年	2月	・災害活動の迅速化を図るため、通信指令室に自動地図検索装置（F U J I ・ F - 1 0 0 C K B型）を導入する。
	4月	・消防本部、消防署の組織改正を実施し消防本部の消防課、広報課を廃止、庶務課（庶務係、第1管理係、第2管理係）予防課（予防係、保安係、広報係）警防課（警防係、救急係）通信指令室（指令第1係、指令第2係）の3課1室10係とする。消防署に副署長を置き、従来の4係を廃止する。 ・消防職員実員167人となる。
	11月	・富士見市山室1丁目1342-1に富士見出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延359.02㎡）が完成し移転する。 ・消防広報紙創刊号を発行する。
昭和57年	1月	・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・K-SDR320型改）1台を更新する。
	2月	・救急専用無線を導入し、救急通信の円滑化を図る。 ・38メートル級はしご付消防ポンプ自動車（日野・K-FW274AA型改）を配備する。
	11月	・大井町鶴ヶ岡1丁目3-40に大井出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延338.35㎡）が完成し、移転する。 ・事務連絡車（スズキ・アルトM-SS40V型）1台を配備する。
昭和58年	4月	・消防職員実員173人となる。
	9月	・小型バス（ニッサン・N-MCW40型-29人乗り）1台を更新する。 ・事務連絡車（ミツビシ・エコノム-A107型）1台を配備する。
	11月	・化学消防自動車（いすゞ・K-FDR370型改）1台を配備する。
昭和59年	1月	・救急自動車（トヨタ・RH-18V型）1台を更新する。
	2月	・みずほ台出張所庁舎を増築する。（延288.47㎡）
	4月	・消防職員実員176人となる。
	7月	・事務連絡車（スバル・M-KR-1型）1台を更新する。
昭和60年	3月	・救急自動車（ニッサン・L-FHGE23型）1台を更新する。
	4月	・富士見ロータリークラブより、広報車（ニッサン・サニーバンL-VB11型改）1台が寄贈される。
	5月	・複雑多様化する各種災害に対応するため、富士見出張所に訓練塔（鉄骨ALC造5階建、高さ15メートル）を設置する。
昭和61年	3月	・消防本部庁舎を増改築する。（延1,429.70㎡）
	5月	・東海興産株式会社並びに株式会社渡辺木材センターより、救急自動車（ニッサン・L-FHGE23型）1台が寄贈される。
	8月	・現場指導車（ニッサン・バネットN-KUC22型）1台を更新する。
	10月	・消防職員定数条例を改正し、定員195人とする。
昭和62年	3月	・消防ポンプ自動車（ミツビシ・P-FE335B型改）1台を更新する。 ・予防車（ニッサン・サニーバンL-VB11型改）1台を更新する。 ・救急自動車（ニッサン・L-FEGE24型改）1台を更新する。
	4月	・消防職員実員179人となる。 ・大井町と人事交流による職員研修を実施する。 ・消防本部、消防署の組織改正を実施し、従来の警防課を廃止し、新たに防災対策室（防災対策係、指導係）を設ける。消防署に2係（警防係、救助係）と、法令に基づく特別救助隊を設置する。 ・消防モニター制度が発足する。 ・消防協力員制度が発足し、消防連絡所を地域に設置する。
	5月	・県下初の災害対策車（日野・レインボーP-AB115AA型改）1台を配備し、災害現場でのり災者救護及び現場対策本部の機能を装備する。
	8月	・消防情報テレホンサービスを導入する。（高千穂TK-A2・20回線）
	10月	・消防本部に隊員29人を以て消防音楽隊を発足する。

昭和63年	3月・消防庁長官より消防本部へ竿頭綬が授与される。 ・大阪府・柏原羽曳野藤井寺消防組合と消防行政各分野の交流による友好と将来にわたる親善を誓い、消防事務事業盟約を締結する。 ・救助工作車（ミツビシ・フソーP-FK416FX型改）1台を更新し、人命救助器具一式を装備する。 ・自治体消防発足40周年となる。 4月・消防職員実員183人となる。 ・消防本部の組織改正を実施し、庶務課に1係（秘書企画係）を新たに設ける。 9月・消防組合表彰条例を制定する。 10月・独居老人の急病、事故等の緊急事態に対処するため、高齢者情報管理室を上福岡出張所内に新設し「緊急時連絡システム」を導入する。 11月・「119番の日」の制定に伴い、「119番の日、第1回消防定例表彰式」を開催する。 ・消防音楽隊創立1周年記念演奏会を開催する。 12月・高所降下用救命装置（エアバック）を1基購入する。
平成元年	3月・密集住宅地の消防対策として10メートル級はしご付消防ポンプ自動車（いすゞ・NKR-58E）を配備する。 4月・消防職員実員186人となる。 ・消防署の組織改正を実施し、1係（救急係）を設ける。 5月・10日14時46分三芳町食品倉庫火災発生、2棟全焼焼失面積3,266㎡消火活動12時間要す。 ・富士見ライオンズクラブから軽自動車（スバル・M-KNI）が寄贈される。 8月・消防本部庁舎建設審議会が発足し、委員16人の任命式が行われる。
平成2年	1月・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 3月・本署に訓練塔（鉄骨造17メートル）が完成する。 4月・富士見ロータリークラブより火災予防活動費として助成金を贈呈される。 ・消防職員実員191人となる。 5月・濃煙の現場活動に不可欠な空気呼吸器の移動式空気充填車（いすゞ・P-NKR58L型）を導入する。 7月・消防本部、消防署の組織改正を実施、従来の消防本部庶務課を廃止し総務課とし、防災対策室を廃止し防災対策課に、指導係を廃止し消防団係を設ける。消防署、消防出張所を中央消防署、富士見消防署、上福岡消防署の3消防署、大井分署、三芳分署、みずほ台分署の3分署とする。また各消防署に2係（庶務係、消防係）を設け組織の強化を図る。 11月・組合設立20周年記念式典を大井町中央公民館において実施する。 ・組合設立20周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
平成3年	2月・司令車（トヨタ・クラウンE-MS135）1台を更新する。 3月・密集住宅地の消防対策として、小型動力ポンプ積載車（ダイハツ・M-S83P改）1台を配備する。 ・高齢者対策とし、車椅子リフター付高齢者対策用救急車（ニッサン・T-FTE24改）1台を配備する。 4月・消防職員定数条例を改正し、定員214人とする。 ・消防職員実員194人となる。 6月・資材運搬車（ミツビシ・U-FE317B）1台を更新する。 8月・（財）日本消防協会より救急車（ニッサン・T-FTE24）が寄贈される。 9月・女性看護婦2名を採用、救急車に同乗させる。全国初の「女性救急隊員」が誕生する。 ・「第12回六都県合同防災訓練」が入間東部地区管内で実施され、埼玉会場となった荒川河川敷には、約1万人80機関が参加し、各種訓練が行われる。 10月・近藤建設㈱より普通自動車（スズキ・ETA01W）が寄贈される。 11月・連絡車（スズキ・V-JA11V）を更新する。 12月・密集住宅地の消防対策として10メートル級はしご付消防ポンプ自動車（いすゞ・U-NKR58E2N改）を配備する。
平成4年	4月・消防本部の組織改正を実施、新たに企画課（企画係、施設係）を設け、総務課を2係（秘書係、庶務係）とする。 ・消防職員実員201人となる。 ・看護婦2名を採用し救急車に同乗する。

- 7月・救急功労機関表彰を埼玉県医師会会長より授賞する。
- 11月・当消防本部が開催地を担当し、全国消防長会組合消防委員会が自治省消防庁消防課長はじめ全国各都道府県の代表消防長が出席し、開催される。
- 平成5年
- 1月・消防団員に関する調査研究を目的として消防団員確保調査委員会を設置する。
- 3月・消防本部西側敷地内に、1階部分救急消毒室、2階部分通信指令室用第二庁舎（鉄骨ALC造2階建、延214.2㎡）が完成する。
- 4月・消防職員実員209人となる。
- ・「救えますか、大切ないのち」をキャッチフレーズにして一般住民に対する地域ぐるみの応急手当の普及啓発を目的に「救急連絡協議会」を設立する。
 - ・自治体消防発足45周年記念式典を開催する。
 - ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。
- 5月・消防本部の組織改正を実施し、総務課2係（庶務係、職員厚生係）、渉外課2係（秘書広報係、施設係）とする。
- ・高規格救急自動車（ニッサン・N-NG4YH41改）1台を配備する。
 - ・救急普及啓発広報車（ニッサン29人乗バス改造車）1台を配備する。
- 6月・心電図受信装置を管内10ヶ所の救急告示病院等に設置を完了し、医療機関との連携体制が確立する。
- 12月・消防本部北側訓練場用地を購入する。（468㎡）
- ・最新鋭の消防緊急通信指令システムⅡ型を導入し、運用開始する。
- 平成6年
- 3月・高規格救急自動車（ニッサン・U-UG4TH41改）をみずほ台分署に配備する。
- ・消防職員定数条例を改正し、定員240人とする。
- 4月・消防職員実員217人となる。
- ・完全週休2日制を導入する。
- 10月・女性隊員当直制度を開始する（全国で初めて女性救急隊員の当直を実施）。
- ・小型バス（いすゞ・U-MR132D—29人乗）1台を更新する。
- 平成7年
- 1月・1月17日5時46分発生阪神・淡路大震災に、救助工作車、災害対策車及び隊員11名を災害応援救助活動のため派遣する。
- ・水槽付消防ポンプ自動車（三菱・U-FM618H改）1台を更新する。
- 3月・水槽付消防ポンプ自動車（三菱・U-FM618GZW改）3台を更新する。
- ・耐震性貯水槽60㎡を消防本部西側訓練場に設置する。
 - ・災害対策用仮眠室（プレハブ平屋建）80.66㎡消防本部北側訓練場に新築する。
 - ・機動二輪隊（モトクロスバイク125cc・6台）を職員13名で発足する。
- 4月・消防職員実員229人となる。
- ・埼玉県防災航空隊に隊長及び隊員として各1名を派遣する。
- 8月・総務連絡車（トヨタ・カローラE-E104G）1台を更新する。
- ・予防課に予防車（トヨタ・カローラE-E104G）1台を更新する。
- 9月・自治省消防庁より、緊急消防援助隊埼玉県部隊の代表消防機関として、県隊旗及び部隊旗が授与される。
- 平成8年
- 3月・水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・KC-LK211NE改）1台を更新する。
- ・高規格救急自動車（三菱・KC-FG638E改）を上福岡消防署及び三芳分署に配備する。
 - ・災害用支援車（ベンツ・ウニモグ）及び災害対応多目的車（三菱・KC-BG438F）の2台を中央消防署に配備する。
 - ・消防職員定数条例を改正し、定員252人とする。
- 4月・消防職員実員238人となる。
- ・当組合が開催地を担当し、全国消防長会第47回関東支部総会を212消防本部294人の参加により開催する。
- 5月・消防本部の組織改正を実施し、総務課3係（庶務係、職員厚生係、財産管理係）及び新たに救急センターを設け救急課1係（救急係）とする。
- ・彩の国レスキュー隊に登録。県内の大規模災害発生時の出動体制を整える。
- 11月・組合設立25周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。

平成 9 年	2 月 ・ 上福岡市川崎 2 丁目 7 番 3 号に上福岡消防署庁舎（鉄筋コンクリート造、地上 2 階・地下 1 階建、延 1,367.64㎡）が完成し移転する。 3 月 ・ 救助工作車Ⅲ型（ベンツ・ウニモグ）を中央消防署に配備する。 ・ 救助工作車Ⅱ型（日野・ＫＣ－ＦＸ 1 J G B A 改）を富士見消防署に配備する。 4 月 ・ 消防職員実員 2 4 7 人となる。 ・ 消防本部の組織改正を実施し、渉外課を総務課と統合する。 5 月 ・ 入間東部地区危険物安全協会より普通自動車（トヨタ・Ｅ－Ｅ 1 0 4 G）が寄贈される。 9 月 ・ 消防音楽隊創立 1 0 周年記念誌「住民とともに」を発刊する。 1 1 月 ・ 消防署の組織改正を実施し、中央消防署を 3 課（消防課、救急救助課、指令課）とし、新たに指揮隊を設け組織の強化を図る。
平成 1 0 年	3 月 ・ 日本消防協会より指揮広報車（ニッサン・Ｅ－Ｅ Ｕ 1 4）が交付される。 ・ 株式会社エストコーポレーションより普通自動車（ニッサン・Ｅ－Ｋ Ｂ Ｃ 2 3）が寄贈される。 4 月 ・ 携帯電話からの 1 1 9 番通報受信（代表消防本部方式）を開始する。 ・ 消防職員実員 2 4 9 人となる。 8 月 ・ 起震車（いすゞ・ＫＣ－Ｎ Ｐ Ｒ 7 1 L V）を中央消防署に配備する。
平成 1 1 年	4 月 ・ 消防職員実員 2 5 1 人となる。 ・ 火薬類の取締りに関する事務を開始する。 9 月 ・ 資機材運搬車（ミツビシ・Ｋ Ｋ－Ｆ Ｅ 6 2 E E）1 台を更新する。 1 1 月 ・ 埼玉県内初となる、入間東部地区消防官友の会が発足する。
平成 1 2 年	2 月 ・ 上福岡指揮車（ニッサン・Ｇ Ｆ－Ｐ Ｃ 2 4）1 台を更新する。 3 月 ・ 3 8 メートル級はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・Ｆ Ｊ 5 5 O L N）を更新する。 7 月 ・ 消防本部、中央消防署の電話をダイヤルイン方式に変更する。 1 0 月 ・ 高規格救急自動車（ニッサン・Ｇ Ｅ－Ｆ Ｌ Ｗ Ｇ Ｅ 5 0）を富士見消防署に配備する。 ・ 化学消防ポンプ車（いすゞ・Ｋ Ｋ－Ｆ Ｓ Ｒ 3 3 G 4 V 改）を 1 台更新する。 ・ 訓練指導車（ミツビシ・Ｇ Ｆ－Ｐ Ａ 4 W）を 1 台更新する。 1 1 月 ・ 消防組合設立 3 0 周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
平成 1 3 年	3 月 ・ 消防職員定数条例を改正し、定員 2 7 2 人とする。 4 月 ・ 液化石油ガス設備工事の届出等に関する事務を開始する。 1 0 月 ・ 情報公開制度を開始する。 ・ 消防ポンプ自動車（日野・Ｋ Ｋ－Ｘ Ｚ Ｕ 3 3 1 M）1 台を更新する。 1 1 月 ・ 高規格救急自動車（トヨタ・Ｇ Ｅ－Ｃ Ｈ 3 8 S）1 台を更新する。 1 2 月 ・ さいたま市消防本部と消防相互応援協定を締結する。
平成 1 4 年	4 月 ・ 消防職員実員 2 5 9 人となる。 ・ 高圧ガス保安法に基づく事務を開始する。 ・ 埼玉県防災航空隊に隊員 1 名を派遣する。 1 1 月 ・ 災害対応特殊救急自動車（ニッサン・Ｇ Ｅ－Ｆ Ｌ Ｗ Ｇ Ｅ 5 0 改）1 台を更新する。
平成 1 5 年	2 月 ・ 三芳町北永井 6 1 7 番地 8 に三芳分署庁舎（鉄筋コンクリート一部鉄骨造 3 階建「訓練棟 4 階」、延 1,437.72㎡）が完成し移転する。 3 月 ・ （社）日本損害保険協会より高規格救急自動車（トヨタ・Ｔ Ｃ－Ｖ Ｃ Ｈ 3 8 S）1 台が寄贈され、5 月から大井分署に配備し運用を開始する。 4 月 ・ 消防職員実員 2 6 6 人となる。 ・ 消防本部の組織改正を実施し、総務課、予防課、警防課（防災対策課を警防課に変更、防災係から警防防災係に変更、中央消防署指令課を消防指令センターに変更、並びに 3 交代制とし警防課へ加える）、救急課（中央消防署救急救助課から独立）の 4 課となる。

平成１６年	４月・消防職員実員２６９人となる。 ・消防音楽隊の演奏活動を支援する、ボランティア制度を開始する。 １０月・消防本部の組織改正を実施し、警防課に消防訓練センターを加える。 ・１０月２３日１７時５６分に発生した新潟県中越地震に、緊急消防援助隊として救助工作車支援車、高規格救急車の計３台と隊員１３名を派遣する。 ・富士見市鶴馬１８５０番地１に富士見消防署庁舎（鉄筋コンクリート造一部鉄骨造３階建、延１,５４１.６８㎡）及び消防訓練場（鉄筋コンクリート造「Ａ棟６階建、延３２８.３１㎡」、「Ｂ棟３階建、延５５８.７５㎡」、「Ｃ棟３階建、延４６８.７５㎡」）が完成し移転する。 １２月・高規格救急自動車（トヨタ・ＴＣ－ＶＣＨ３８Ｓ）１台を更新する。
平成１７年	２月・入間東部地区消防組合ホームページの運用を開始する。 ・消防ポンプ自動車（日野・ＰＤ－ＸＺＵ３３４Ｍ）１台を更新する。 ・三芳分署西側隣地を訓練用地とし購入する。（４５２.００㎡） ４月・消防職員実員２７１人となる。 ７月・気管挿管認定救急救命士の運用開始する。 ・消防広報紙を構成市町の広報紙に組入れる。 ８月・圧縮空気充填設備を富士見署に配備する。 １０月・構成市町の上福岡市と大井町の廃置分合により、ふじみ野市が誕生する。 １２月・災害用重機（ミツビシキャタピラー・３０３ＣＲ－ＭＳ３ＣＱ）を配備する。 ・災害対応多目的車（いすゞ・ＰＡ－ＮＰＲ８１Ｎ）を配備する。
平成１８年	２月・高規格救急自動車（トヨタ・ＴＣ－ＶＣＨ３８Ｓ）１台を更新する。 ４月・消防本部の組織改正を実施し、消防訓練センターが警防課から独立し、訓練指導課に変更、訓練係を設け組織の強化を図る。 ・携帯電話からの１１９番通報を直接受信方式に切り替える。 ・入間東部地区防火安全協会より普通自動車（トヨタ・ラクティスＸ）が寄贈される。 ・薬剤投与認定救急救命士の運用を開始する。 ６月・ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を中央署、富士見消防署に設置する。 ９月・職員採用試験を共同試験方式で熊谷市・立正大学で実施する。 １０月・消防緊急通信指令施設改修工事を実施する。 １２月・消防職員に対する懲戒処分基準を制定する。
平成１９年	３月・全国初の試みである聴覚障害者を対象とした入間東部地区聴覚障害者防災訓練を実施する。 ４月・消防本部の組織改正を実施し、指令センターが警防課から独立し、指令課に変更。訓練指導課を富士見消防署に加え指導課に変更、訓練指導係を指導係に変更し、組織の強化を図る。 ６月・第３４回埼玉県消防救助技術指導会が本組合東消防署消防訓練場で開催される。 ・全署々庁舎及び水槽付ポンプ車両にＡＥＤ（自動体外式除細動器）を配備する。 ８月・消防訓練場に、空気充填設備（パウアーコンプレッサー・Ｖ１５０－１１－５）が完成する。 １０月・災害用バス（日野・リエッセⅡＧＸ・ＢＤＧ－ＸＺＢ５０Ｍ・２９人乗り）を配備する。 １２月・救急指導車（スズキ・エブリイ・ＥＢＤ－ＤＡ６４Ｖ）を配備する。 ・消防音楽隊創立２０周年記念演奏会が、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで実施される。
平成２０年	３月・水槽付消防ポンプ自動車（日野・ＢＤＧ－ＧＤ７ＪＧＷＡ型改）１台を更新する。 ・小型水槽付消防ポンプ自動車（日野・ＢＤＧ－ＮＭＲ８５Ｎ・水８００ℓ積載）１台を更新する。 ２月・高規格救急自動車（トヨタ・ＣＢＦ－ＴＲＨ２２６Ｓ）１台を更新する。 ・消防署の組織規程を一部改正し、富士見消防署に特別救助隊を置き、救助活動体制の充実強化を図る。 ・総務連絡車（スズキ・ＤＢＡ－ＭＨ２２Ｓ）１台を更新する。 ９月・地震体験車（いすゞ・ＢＫＧ－ＮＰＲ８５ＡＮ）１台を更新する。 １０月・中央指揮車（トヨタ・ＣＢＦ－ＴＲＨ２２１Ｋ）を更新する。 １２月・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（日野・ＢＤＧ－ＧＸ７ＪＧＷＡ改）１台を更新する。
平成２１年	２月・高規格救急自動車（トヨタ・ＣＢＦ－ＴＲＨ２２６Ｓ）１台を更新する。 ７月・株式会社三谷製作所より寄贈された住宅用火災警報器を抽選により住民に配布し、消防職員及び団員により、取付作業を実施する。 １１月・みずほ連絡車（スズキ・エブリイ・ＥＢＤ－ＤＡ６４Ｖ）１台を更新する。

平成22年	2月・購入した住宅用火災警報器の取付が困難という住民を対象に、消防職員及び団員により、取付作業を実施する。 ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GX7JGWA改）1台を更新する。 ・水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GD7JGWA改）1台を更新する。 3月・災害対応特殊救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 4月・消防署の組織規程を一部改正し、指導課を中央消防署に加え、組織の強化を図る。 6月・入間東部地区消防官友の会創立10周年記念式典が富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで開催される。 8月・消防組合設立40周年記念誌を発刊する。（消防年報に組み込み） 10月・富士見連絡車（スズキ・エブリイ・EBD-DA64V）1台を更新する。 11月・第16回埼玉県下消防音楽隊合同演奏会が、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで開催される。
平成23年	2月・15メートル級はしご付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GD7JG）1台を更新する。 ・高規格救急自動車（ニッサン・CBF-EPWGE50改）1台を更新する。 ・上福岡連絡車（スズキ・エブリイ・EBD-DA64V）1台を更新する。 3月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・PKG-FSR90S2改）1台を更新する。 ・3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い、緊急消防援助隊埼玉県部隊に登録している消火隊、救急隊、後方支援隊を被災地へ災害派遣する。 4月・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 6月・塩野建設工業株式会社より衛星電話（三菱電機・ワイドスターII衛星可搬端末01）1台、放射線測定器（富士通電機・NHC710B1-AYYY-Y-S）1器、プロジェクター（エプソン・EH-DM3）一式、子供用消防服一式（制服3着・防火服3着・救助服2着）、扇風機（三菱電機・R30J-RM）24台が寄贈される。 9月・入間東部地区消防官友の会及び入間東部地区防火安全協会より火災調査専用車両（スズキワゴンR・DBA-MH23S）が寄贈される。 12月・ふじみ野市大井中央一丁目1番地内に消防本部・消防署移転用地を購入する。（3,345.71㎡）
平成24年	3月・救助工作車Ⅲ型（日野・SDG-GX7JGAA改）1台を更新する。
平成25年	1月・ふじみ野市大井中央一丁目1番地内に消防本部・消防署移転用地を購入する。（1,654㎡） 3月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・救助工作車Ⅱ型（日野・SDG-GX7JGAA改）1台を更新する。 ・消防職員定数条例を改正し、定員281人となる。 6月・塩野建設工業株式会社より総務連絡車（マツダ・スクラム・HBD-DG64V）が寄贈される。 7月・再任用職員の採用を開始する。 8月・ふじみ野市大井中央一丁目1番19号に消防本部・消防署の庁舎（基礎免震、鉄筋コンクリート造4階建、延5,655.59㎡）及び消防訓練棟（鉄筋コンクリート造「A棟6階建、205.32㎡」、「B棟3階建、392.16㎡」）が完成し移転する。 ・高機能消防指令センター総合整備事業（Ⅱ型）が完成し、運用を開始する。 ・消防本部・消防署の組織改正を実施し、指令課と指揮隊を統合して消防本部に指揮統制課を設ける。中央消防署と大井分署を統合して西消防署に、富士見消防署を東消防署に名称を変更して2消防署とするほか、上福岡消防署をふじみ野分署に、みずほ台分署を富士見分署に名称を変更して、三芳分署と併せて3分署とする。 ・消防庁舎落成記念・音楽隊創立25周年記念演奏会が、消防本部・西消防署庁舎4階大講堂で実施される。
平成26年	3月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH221S）を東消防署に更に1台を配備する。 4月・消防職員実員281人となる。 ・消防救急無線をデジタル方式へと移行し、運用を開始する。 6月・第41回埼玉県消防救助技術指導会が本消防組合東消防署消防訓練場で開催される。 ・災害用モーターバイク（ヤマハ・トリッカー・JBK-DG16J）4台を更新する。 ・総務連絡車（トヨタ・サクシード・DBE-NCP51V）1台を更新する。

平成27年	1月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 3月・資器材運搬車（日野・TKG-XZU710M）1台を更新する。 ・指揮広報車（トヨタ・CBF-TRH226K）1台を更新する。 6月・第42回埼玉県消防救助技術指導会が本組合東消防署消防訓練場で開催される。 ・予防連絡車（トヨタ・サクシード・DBE-NCP160V）1台を更新する。 7月・第44回消防救助技術関東地区指導会が本組合消防訓練場で開催される。 8月・第44回全国消防救助大会において、本消防組合代表のロープブリッジ救出チームが1位入賞する。 11月・日本消防協会より総務4号車（ニッサン・パネット・DBA-M20）が交付される。
平成28年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 3月・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野・SDG-GX7JGAA改）1台を更新する。 4月・消防署の組織改正を実施し、従来の隊を係へと名称変更を実施する。 5月・指揮統制連絡車（スズキ・エブリィV・HBD-DA17V）1台を更新する。 8月・訓練指導車（トヨタ・DBA-ZRR80G）1台を更新する。 ・「第37回九都県市合同防災訓練 埼玉県会場」及び「埼玉県・ふじみ野市総合防災訓練」が入間東部地区管内で開催され、会場となったふじみ野市役所東側広場には、約8千人115機関が参加し、各種訓練が実施される。
平成29年	2月・三芳町で大規模倉庫火災が発生し、約45,000㎡を焼損し消火活動に13日間（296時間）を要す。 ・（公財）日本消防協会会長が来庁し、三芳町倉庫火災の消火活動に対し激励を受ける。 ・災害対応特殊救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・災害用支援車（日野・SDG-GX7JCAA）1台を更新する。 4月・ふじみ野市との人事交流により相互1名の職員研修を実施する。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 9月・東広報車（トヨタ・DBA-ZRR80G）1台を更新する。 ・消防ポンプ自動車（日野・TKG-XZU685M）1台を更新する。 11月・消防音楽隊創立30周年記念演奏会がふじみ野市勤労福祉センターで実施される。
平成30年	2月・株式会社エストコーポレーションより広報車（ニッサン・DBA-C27）が1台寄贈され、消防艗装し、三芳広報車1台を更新する。 ・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。

3. 入間東部地区事務組合の沿革

平成30年	4月・入間東部地区消防組合と入間東部地区衛生組合が統合し、入間東部地区事務組合が発足する。 ・緊急消防援助隊埼玉県大隊消火小隊として災害対応特殊消防ポンプ自動車（日野・TKG-XZU685M）1台を新たに追加登録する。 ・埼玉中央生コン協同組合及び東和アークス株式会社と大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定を締結する。 9月・高機能消防指令センターⅡ型情報系更新事業が完了する。 ・消防職員定数条例を改正し、定員290人とする。 10月・消防署の組織規程を一部改正し、西消防署特別救助隊を再編し、埼玉県内10番目となる高度救助隊を発足する。 ・富士見市災害対策協力会、ふじみ野市災害対策協会及び三芳町災害対策協力会と大規模な火災その他の災害等発生時の消防活動支援協力に関する協定を締結する。 11月・聴覚、言語機能等の障害で音声による119番通報が困難な者が多機能携帯電話のインターネットを活用し、消防機関へ緊急通報を行うことができるNet119緊急通報システムの運用を開始する。 12月・地震体験車（いすゞ・TPG-NPR85AN）1台を更新する。
平成31年	2月・塩野建設工業株式会社より煙体験ハウス（太陽工業・エアクイック3）が寄贈される。 4月・富士見市との人事交流により相互1名の職員研修を実施する。 ・消防職員実員283人（再任用職員1名を含む。）となる。 ・消防本部の組織改正を実施し、庶務係と管理係を統合して消防総務課庶務係とする。
令和元年	5月・元号が「令和」に改められる。 6月・富士見市大字水子字台下4059番1及び4060番内に東消防署富士見分署移転用地を購入する。（1,572.09㎡）

令和2年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。
	3月・38メートル級はしご付消防自動車（ヒノ・2DG-FRIAJA改）1台を更新する。 ・塩野建設工業株式会社から水害用救助ボート（アキレス・WA-85）2艇が寄贈される。 ・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）を新たに1台増車し、西消防署に暫定配備する。
4月	・消防職員実数286人（再任用職員2名を含む。）となる。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 ・高規格救急自動車8台体制を開始し、暫定的に西2号車と乗換え運用とする。 ・ふじみ野市災害対策協会及び三芳町災害対策協力会と災害発生時の無人航空機を活用した消防活動支援協力に関する協定を締結する。
	5月・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消防業務支援として、株式会社エストコーポレーション、塩野建設工業株式会社、三協測量設計株式会社、ミヨシトータルサービス株式会社の4社から高機能マスク・フェイスシールド・ゴム手袋が寄附され、更に株式会社東京カネカフードから高機能マスクが寄附される。
12月	・日本消防協会よりニッサン・エクストレイル（DBA-NT32）が交付される。
令和3年	1月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。
	2月・小型水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2RG-XZU640M）1台を更新する。
3月	・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を新規整備する。 ・ふじみ野広報1号車（三菱・デリカ・3DA-CV1W）1台を更新する。 ・富士見市大字水子4060番1に東消防署富士見分署の庁舎（鉄筋コンクリート造2階建、延903.29㎡）が完成し、移転する。
	4月・三芳町との人事交流により1名の職員研修を実施する。 ・消防職員実員289人（再任用2名含む。）となる。 ・西消防署三芳分署に救急隊1隊を増設し、救急隊8隊体制を開始する。
5月	・入間東部地区防火安全協会より事務連絡車（トヨタ・シエンタ・5BA-NSP170G）が寄贈される。
12月	・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を新規整備する。
令和4年	4月・消防職員実員289人（再任用1名含む。）となる。
令和5年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。
	3月・水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2DG-GD2ABA）1台を更新する。 ・小型水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2RG-XZU640M）1台を更新する。
4月	・ふじみ野市との人事交流により1名の職員研修を実施する。 ・消防職員実員287人となる。
令和6年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。
	3月・指揮車（トヨタ・ハイエース）1台を更新する。 ・水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2KG-GX2ABA）1台を更新する。
4月	・職員定数条例を改正し、消防職員定数を319人とする。 ・消防職員実員290人となる。
令和7年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。
	3月・東消防署消防訓練場ヘリポート改修工事が完了する。 ・2月26日に岩手県大船渡市で発生した山林火災に、緊急消防援助隊埼玉県大隊消火小隊として、3次派遣隊5名、4次派遣隊5名の隊員を派遣する。
4月	・消防署の組織規程を一部改正し、西消防署消防課に救急係、訓練指導係を置き、日勤救急隊の運用を開始する。 ・富士見市との人事交流により1名の職員研修を実施する。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 ・消防職員実員299人となる。 ・水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2KG-GX2ABA）1台を更新する。 ・水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2DG-GD2ABA）1台を更新する。
令和8年	2月・4日に埼玉県秩父市浦山地区で発生した山林火災に、埼玉県下消防相互応援協定に基づき、消火隊6隊24名を派遣する。
	3月・水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2DG-GD2ABA）1台を更新する。 ・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。

- ・多目的搬送車（いすゞ・２ＲＧ－ＮＰＲ８８ＹＭ）１台を更新する。
 - ・大室防災株式会社よりミニチュア消防車１２２個及び展示用ショーケース２台が寄贈される。
- ４月
- ・高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備を更新し、運用を開始する。
 - ・緊急消防援助隊埼玉県大隊救急小隊として災害対応特殊救急自動車（トヨタ・３ＢＦ－ＴＲＨ２２６Ｓ）１台を新たに追加登録する。
 - ・消防職員実員３０３人となる。

事務分掌【消防本部】

消防総務課	庶務係	(1) 消防に係る重要施策の企画に関する事。 (2) 消防の組織に関する事。 (3) 消防力の整備計画に関する事。 (4) 消防の予算及び決算に関する事。 (5) 消防に係る起債及び国庫補助並びに県費補助に関する事。 (6) 消防長会に関する事。 (7) 消防広報に関する事。 (8) 消防統計並びに消防年報の編集及び発行に関する事。 (9) 消防本部の公印の保管に関する事。 (10) 図書管理に関する事。 (11) 職場調整会議の庶務に関する事。 (12) 情報公開に係る連絡調整等に関する事。 (13) 消防に係る公有財産の取得、管理及び処分に関する事。 (14) 消防に係る財産台帳及び備品台帳の整備に関する事。 (15) 執務環境の研究及び改善に関する事。 (16) 消防資機材の研究及び開発に関する事。 (17) 消防に係る施設の整備及び管理に関する事。 (18) 消防に係る物品の購入調達及び支給に関する事。 (19) 所管する財産に関する事。 (20) 前各号に掲げるもののほか、他の課に属さない事。
	職員係	(1) 消防職員の任免、分限、懲戒及び服務その他身分に関する事。 (2) 消防職員の研修及び人事交流に関する事。 (3) 消防職員の給与等に関する事。 (4) 消防職員の募集、選考及び試験に関する事。 (5) 消防職員の賞じゅつに関する事。 (6) 消防職員の福利厚生及び健康管理に関する事。 (7) 事務推進委員会の庶務に関する事。 (8) 消防職員の安全衛生管理に関する事。 (9) 消防職員委員会の庶務に関する事。 (10) 消防に係る貸与品の購入調達並びに支給及び貸与に関する事。 (11) 所管する財産に関する事。
予防課	予防係	(1) 火災予防の企画及び指導に関する事。 (2) 火災予防の広報及び広聴に関する事。 (3) 建築確認等の同意に関する事。 (4) 消防用設備等及び特殊消防用設備等に関する事。 (5) 建築物の事前協議及び開発行為等に関わる消防の指導に関する事。 (6) 幼年消防の組織に関する事。 (7) 火災予防条例に関する事。 (8) 所管する財産に関する事。
	保安係	(1) 危険物製造所等の許認可に関する事。 (2) 危険物の取締り及び保安指導に関する事。 (3) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導に関する事。 (4) 高圧ガス、液化石油ガス、火薬類、放射性同位元素、劇物及び毒物の火災予防措置に関する事。 (5) 防火安全協会に関する事。 (6) 火災予防条例に関する事。

		(7) 所管する財産に関すること。 (8) その他危険物事務に関すること。
	査察指導係	(1) 立入検査に関すること。 (2) 違反対象物の改善及び指導に関すること。 (3) 防火対象物の防火指導に関すること。 (4) 防火管理者の育成指導及び講習に関すること。 (5) 自衛消防組織に関すること。 (6) 防火及び防災対象物点検報告に関すること。 (7) 防火及び防災対象物点検報告の特例認定に関すること。 (8) 防災管理に関すること。 (9) 火災予防措置命令に関すること。 (10) 火災予防条例に関すること。 (11) 所管する財産に関すること。
警防課	警防係	(1) 警防対策及び消防防災の総括に関すること。 (2) 警防計画の作成に関すること。 (3) 機関員の育成及び技術指導に関すること。 (4) 災害情報の収集に関すること。 (5) 警防対策本部に関すること。 (6) 消防水利に関すること。 (7) 出初式及び防災訓練に関すること。 (8) 水災、地震等の消防対策に関すること。 (9) 防災行政における構成市町との連絡調整に関すること。 (10) 住民の防火指導に関すること。 (11) 武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律(平成16年法律第112号)に関すること。 (12) 警防計画に基づく演習及び訓練に関すること。 (13) 緊急消防援助隊に関すること。 (14) 消防相互応援協定に関すること。 (15) 危機管理対策に関すること。 (16) 防災館に関すること。 (17) 消防車両等の整備及び管理に関すること。 (18) 所管する財産に関すること。
	消防団係	(1) 消防団事務に関すること。 (2) 消防団員の表彰及び公務災害補償に関すること。 (3) 消防団員の研修及び訓練に関すること。 (4) 消防団諮問委員会に関すること。 (5) 消防協会に関すること。 (6) 所管する財産に関すること。
救急課	救急係	(1) 救急業務の統括に関すること。 (2) 救急業務の高度化推進に関すること。 (3) 救急隊員の資格等救急制度に関すること。 (4) 救急隊の教育訓練計画の立案に関すること。 (5) 応急処置の普及及び救命講習会に関すること。 (6) 救急医療機関の連絡調整に関すること。 (7) 救急医療検討委員会に関すること。 (8) 救急統計及び報告に関すること。 (9) 管内情勢の調査及び救急対策に関すること。 (10) 所管する財産に関すること。

指揮統制課	指令システム係	(1) 消防指令システムの整備に関すること。 (2) 消防無線システムの整備に関すること。 (3) 所管する財産に関すること。
	指令係	(1) 災害現場等の情報収集、連絡及び警防対策本部への報告に関すること。 (2) 災害通信の受信及び指令に関すること。 (3) 医療機関その他関係機関の把握及び連絡に関すること。 (4) 出動隊の管制及び指令に関すること。 (5) 防災行政無線に関すること。 (6) 防災情報システムに関すること。 (7) 消防通信指令施設の維持管理に関すること。 (8) 気象情報の収集及び受理伝達に関すること。 (9) 消防通信統計に関すること。 (10) その他通信指令業務に関すること。 (11) 所管する財産に関すること。
	指揮係	(1) 災害現場等の部隊運用及び指揮に関すること。 (2) 災害現場等の情報収集、安全管理、命令の伝達及び警防対策本部への報告に関すること。 (3) 災害等の調査及び指導に関すること。 (4) 災害通信の受信及び指令に係る補助に関すること。 (5) 火災調査書類に関すること。 (6) 所管する財産に関すること。
	情報管理係	(1) 緊急時連絡情報の受信及び連絡に関すること。 (2) 構成市町主管課との連絡調整に関すること。 (3) 緊急時連絡システムの維持管理に関すること。 (4) 高齢者情報の統計及び台帳の保管に関すること。 (5) 所管する財産に関すること。

事務分掌【消防署・分署】

消防課	(1) 消防本部及び消防署間の連絡調整に関すること。 (2) 消防署の庶務に関すること。 (3) 消防署に係る公印の保管に関すること。 (4) 文書の保管に関すること。 (5) 消防用車両の維持管理に関すること。 (6) 署員の服務規律及び安全管理に関すること。 (7) 消防統計に関すること。 (8) 備品の維持管理に関すること。 (9) 火災予防条例の届出事務に関すること。 (10) 災害の警戒、防御及び調査に関すること。 (11) 消防係、救助係及び救急係の運用に関すること。 (12) 消防水利施設の維持管理に関すること。 (13) 水災、地震等の消防活動に関すること。 (14) 活動訓練計画及び実施に関すること。 (15) 管内情勢の調査及び警防対策に関すること。 (16) 消防協力者の表彰に関すること。 (17) 救助統計及び報告に関すること。 (18) 救助技術の研究及び救助訓練に関すること。 (19) 救助用資機材の管理に関すること。 (20) 救助隊員の安全管理に関すること。
-----	--

西消防署・東消防署		(21) 教育訓練の研究及び実施に関すること。 (22) 火災調査書類に関すること。 (23) 火災等の証明に関すること。 (24) 防火管理者及び消防計画の届出及び指導に関すること。 (25) 立入検査に関すること。 (26) 違反対象物の改善及び指導に関すること。 (27) 消防訓練場の施設の整備及び維持管理に関すること。 (28) 災害の情報収集及び原因調査に関すること。 (29) 火災予防の広報、広聴及び指導に関すること。 (30) 火災等の調査、報告及び統計に関すること（西消防署に限る。）。 (31) 消防署の予算に関すること（西消防署に限る。）。 (32) 自家用給油取扱所の維持管理及び運用に関すること（西消防署に限る。）。 (33) 所管する財産に関すること（西消防署に限る。）。 (34) 消防団、事業所及び住民等の消防訓練に関すること（東消防署に限る。）。 (35) 救助指導会に関する資機材の管理に関すること（東消防署に限る。）。 (36) 救助指導会事務及び訓練に関すること（東消防署に限る。）。
	救急係	(1) 救急業務及び救急指導に関すること。 (2) 救急資機材及び救急薬品の維持管理に関すること。 (3) 消毒室の管理に関すること。 (4) 事業所、住民等の応急処置訓練等に関すること。
	訓練指導係	(1) 消防団、事業所及び住民等の消防訓練に関すること。 (2) 消防訓練等の訓練資機材の維持管理に関すること。 (3) 地震体験車の運用に関すること。 (4) 防災館の運用に関すること。
	高度救助係・特別救助係・消防係・救急係	(1) 災害現場指揮及び指導に関すること。 (2) 災害等の現場における情報収集、安全管理、命令の伝達及び警防対策本部への報告に関すること。 (3) 災害等の現場活動に関すること。 (4) 火災予防査察に関すること。 (5) 火災予防の広報、広聴及び指導に関すること。 (6) 警防調査に関すること。 (7) 管内情勢の調査及び警防対策に関すること。 (8) 消防水利施設の維持管理に関すること。 (9) 消防車両等の維持管理に関すること。 (10) 活動訓練の計画及び実施に関すること。 (11) 消防団、事業所、住民等の消防訓練に関すること。 (12) 消防技術の研究に関すること。 (13) 火災等の調査、報告、統計及び証明に関すること。 (14) 火災調査書類に関すること。 (15) 救急業務及び救急指導に関すること。 (16) 救急資機材及び救急薬品の維持管理に関すること。 (17) 消毒室の管理に関すること。

消 防 予 算（当初）

歳入

（単位：千円）

区 分	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	予算額	構成割合	予算額	構成割合	予算額	構成割合
1. 分担金及び負担金	3,203,314	76.3%	3,362,894	76.7%	3,525,688	89.5%
2. 使用料及び手数料	3,058	0.1%未満	3,067	0.1%未満	2,919	0.1%未満
3. 国庫支出金	2	0.1%未満	1	0.1%未満	2	0.1%未満
4. 県支出金	1	0.1%未満	1	0.1%未満	1	0.1%未満
5. 財産収入	6,739	0.1%未満	8,867	0.2%	9,568	0.2%
6. 寄附金	1	0.1%未満	1	0.1%未満	1	0.1%未満
7. 繰入金	0	0.1%未満	0	0.0%	0	0.0%
8. 繰越金	11,300	0.3%	11,300	0.3%	11,300	0.3%
9. 諸収入	972	0.1%未満	502	0.1%未満	609	0.1%未満
10. 組合債	970,400	23.1%	999,200	22.8%	388,400	9.9%
総 額	4,195,787	100.0%	4,385,833	100.0%	3,938,488	100.0%

歳出

（単位：千円）

区 分	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	予算額	構成割合	予算額	構成割合	予算額	構成割合
4. 消 防 費	3,904,960	93.1%	4,117,541	93.9%	3,640,401	92.4%
5. 公 債 費	290,825	6.9%	268,290	6.1%	298,085	7.6%
6. 諸 支 出 金	2	0.1%未満	2	0.1%未満	2	0.1%未満
総 額	4,195,787	100.0%	4,385,833	100.0%	3,938,488	100.0%

構成市町別負担金

（単位：円）

年度	構成市町	常備消防費	非常備消防費	合計
令和6年度	富 士 見 市	1,203,931,744	39,604,000	1,243,535,744
	ふ じ み 野 市	1,234,819,207	58,020,000	1,292,839,207
	三 芳 町	631,796,049	35,143,000	666,939,049
	計	3,070,547,000	132,767,000	3,203,314,000
令和7年度	富 士 見 市	1,265,395,248	36,850,000	1,302,245,248
	ふ じ み 野 市	1,295,988,386	62,484,000	1,358,472,386
	三 芳 町	663,138,366	39,038,000	702,176,366
	計	3,224,522,000	138,372,000	3,362,894,000
令和8年度	富 士 見 市	1,329,601,393	34,159,000	1,363,760,393
	ふ じ み 野 市	1,368,817,531	55,956,000	1,424,773,531
	三 芳 町	691,756,076	45,398,000	737,154,076
	計	3,390,175,000	135,513,000	3,525,688,000

消防庁舎の現況

令和8年4月1日現在

名称	所在地	建築 年月日	構造	敷地面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
消防本部・西消防署 (防災館併設) 訓練棟	ふじみ野市大井中央 1-1-19	H25. 6. 21	鉄筋コンクリート造 4階建免震構造 鉄筋コンクリート造 6階建1棟・3階建1棟	4, 999. 71	5, 356. 81 466. 76
三芳分署	三芳町北永井617-8	H15. 2. 14	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建 (訓練棟4階建)	2, 192. 37	1, 354. 75
東消防署 消防訓練場	富士見市鶴馬1850-1	H16. 10. 28	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建 鉄筋コンクリート造 6階建1棟・3階建2棟	9, 597. 06	1, 536. 08 959. 70
富士見分署	富士見市水子4060-1	R3. 3. 12	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建て	1, 534. 73	856. 00
ふじみ野分署	ふじみ野市川崎2-7-3	H9. 2. 1	鉄筋コンクリート造 地上2階・地下1階建	1, 128. 00	1, 354. 92

※延べ面積は公有財産台帳の数値

階級・年齢別職員構成状況

令和8年4月1日現在

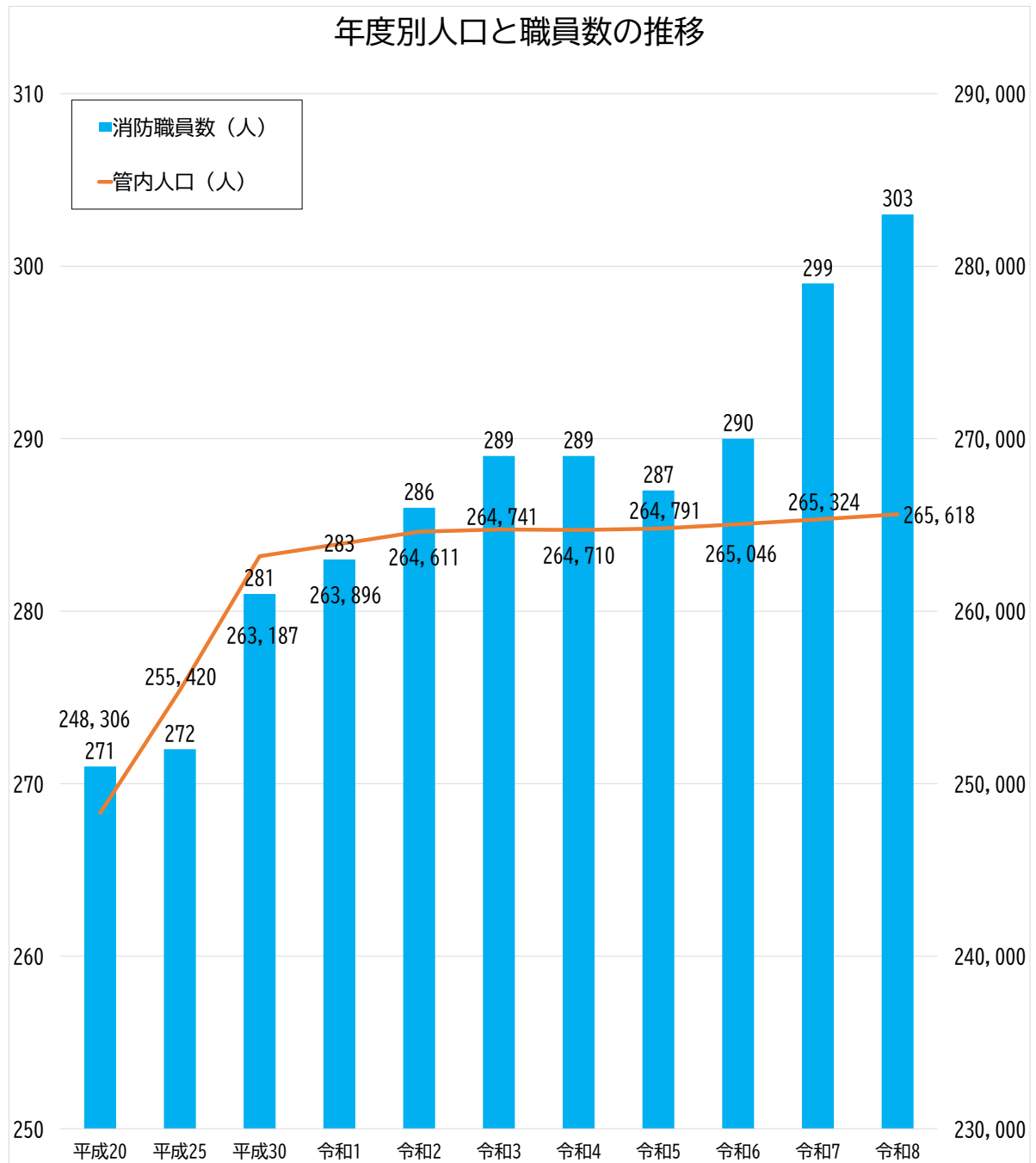
階級 年齢	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	303	1	3	12	42	106	57	39	43
平均年齢	39.14	58.00	57.00	54.67	50.79	45.69	34.00	27.90	22.63
18	4								4
19	2								2
20	2								2
21	4								4
22	6								6
23	6								6
24	9								9
25	16							8	8
26	4							3	1
27	4							3	1
28	10							10	
29	7							7	
30	7						4	3	
31	11						7	4	
32	8						7	1	
33	3						3		
34	15						15		
35	10						10		
36	10					5	5		
37	8					5	3		
38	8					7	1		
39	5					4	1		
40	5					5			
41	10					10			
42	4					4			
43	5					5			
44	6				1	5			
45	8				1	7			
46	7				1	6			
47	7				3	4			
48	11				5	6			
49	12				5	7			
50	10				5	4	1		
51	12				8	4			
52	8			4	2	2			
53	6			2	2	2			
54	5				2	3			
55	2				2				
56	5		2	2	1				
57	8			3	3	2			
58	1	1							
59	3		1	1	1				
60	6					6			
61	3					3			
62	－								
63	－								
64	－								

階級・勤続年数別職員構成状況

令和8年4月1日現在

階級 勤続年数	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	303	1	3	12	42	106	57	39	43
平均勤続年	18.80	35.00	37.67	34.08	29.64	26.31	12.81	7.31	2.07
46	－								
45	－								
44	－								
43	3					3			
42	4					4			
41	－								
40	2		1	1					
39	4			2	1	1			
38	4		1	2		1			
37	1				1				
36	4				1	3			
35	4	1	1		2				
34	4			1	1	2			
33	7				4	3			
32	10				7	2	1		
31	11			2	4	5			
30	12			3	2	7			
29	9			1	4	4			
28	4				2	2			
27	4				2	2			
26	4				3	1			
25	1				1				
24	10				2	8			
23	11				3	8			
22	7				1	6			
21	8				1	7			
20	7					7			
19	6					6			
18	10					10			
17	7					3	4		
16	8					3	5		
15	10					6	4		
14	6					2	4		
13	6						6		
12	20						19	1	
11	6						3	3	
10	6						2	4	
9	10						3	7	
8	8						6	2	
7	7							7	
6	8							5	3
5	8							5	3
4	5							2	3
3	9							3	6
2	7								7
1	12								12
0	9								9

各年4月1日現在



※ 消防職員数は、定数外職員及び再任用短時間勤務職員を除いた実員数です。

職 員 配 置 状 況

単位：人

令和8年4月1日現在

階 級 配 属		総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数		303 (17)	1	3	12	42 (1)	106 (3)	57 (8)	39 (2)	43 (3)
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	参 事									
	消 防 総 務 課	12 (3)				2	2	4 (3)		4
	予 防 課	12			1	3	6	1	1	
	警 防 課	8			1	3	4			
	救 急 課	6 (2)			1	2 (1)	1 (1)	2		
	指 揮 統 制 課	29			4	7	14	1	2	1
	派 遣 等	2					2			
消 防 署	西 消 防 署	62 (3)		1	2	6	14	12 (2)	14 (1)	13
	消 防 課	12				2	8	2		
	三 芳 分 署	43 (3)				4	14	13 (1)	3	9 (2)
	東 消 防 署	52 (2)		1	3	6	14	12 (1)	12 (1)	4
	消 防 課	4 (1)				1	3 (1)			
	富 士 見 分 署	25 (1)				3	13 (1)	4	2	3
	ふ じ み 野 分 署	34 (2)				3	11	6 (1)	5	9 (1)

※ （ ）はうち女性

職 員 の 教 育 実 施 状 況

単位：人

教 育 課 程			年 度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
総 数				37	36	35	37	35
消 防 大 学 校	総 合	本 科						
		幹 部 科	1		1	1		
		上 級 幹 部 科						
	専 科 教 育	警 防 科		1				
		予 防 科						
		救 急 科						
		救 助 科						
		火 災 調 査 科						1
	実 務 講 習	女性活躍推進コース						
		緊急消防援助隊教育科NBCコース				1		
埼 玉 県 消 防 学 校	初 任 教 育		9	8	8	8	8	8
	警 防 科	警 防 科	2	2	2	2	2	2
		特 殊 災 害 科		3		3		
	予 防 科	予 防 査 察 科		3		3		
		火 災 調 査 科	3		2		2	
	救 急 科	救 急 科	9	9	9	9	9	9
	救 助 科		2	2	2	2	2	2
	幹 部 科	初 級 幹 部 科	3	3	3	3	3	3
	特 別 教 育	実 科 指 導 員 教 育	2		2		2	
		実 火 災 訓 練 教 育	4	3	4	3	4	
		警 防 活 動 教 育	2	2	2	2	2	2
		特 別 高 度 救 助 教 育						

職 員 の 特 殊 技 能 資 格 状 況

令和8年4月1日現在

種 類			総数(人)	種 類		総数 (人)
実 員			303	危険物取扱者	乙 1	9
自動車 運転 免許	大型	2 種	3		乙 2	9
		1 種	145		乙 3	9
	準中型以下		300		乙 4	25
大型特殊自動車運転免許			32		乙 5	7
けん引免許			13		乙 6	8
自動二輪車運転免許		大型	24		丙	29
		普通	93		足場組立作業主任者	
		普通 (小型限定)	1	第2種酸素欠乏 危険作業主任者		8
自動車整備士		2 級	1	酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者		35
		3 級	1	特定化学物質等作業主任者		17
特殊無線技士			180	特定粉塵取扱い		2
航空特殊無線技士			4	有機溶剤作業主任者		19
アマチュア無線技士			9	毒物劇物取扱者		1
予防技術者（防火査察）			38	移動式クレーン		1
予防技術者（危険物）			8	小型移動式クレーン		44
予防技術者（消防用設備等）			6	玉 掛 け		34
消防設備 点検資格者		第1種	1	ガス 溶 接		18
		第2種	1	アーク溶接		7
救 急 救 命 士			66	車両系建設機械運転技能 （整地等、解体用）		30
看 護 師			3	潜 水 士		6
衛 生 管 理 者			13	小 型 船 舶 操 縦 士		12

基準消防力と現有消防力の比較

令和8年4月1日現在

区 分	基準消防力	現有消防力	充足率（％）
署 所 の 数	5	5	100.0
消 防 車 両 台 数	30	27	90.0
消 防 ポ ン プ 自 動 車	9	7	77.8
は し ご 車	2	2	100.0
化 学 車	1	1	100.0
救 急 車	9	8	88.9
救 助 工 作 車	2	2	100.0
指 揮 車	1	1	100.0
特 殊 車 等	3	3	100.0
（ 非 常 用 消 防 車 等 ）	1	1	100.0
（ 非 常 用 救 急 車 ）	2	2	100.0
指 揮 隊 員	13	12	92.3
消 防 隊 員	148	106	71.6
救 急 隊 員	79	77	97.5
救 助 隊 員	33	30	90.9
通 信 員	15	15	100.0
予 防 要 員	46	29 (14)	63.0
庶 務 の 処 理 等 の 人 員	48	48	100.0

※ （ ）は、交代制勤務職員による兼務要員の数を内書きしたものです。

消防音楽隊

入間東部地区事務組合消防音楽隊は、消防志気を鼓舞すると共に「住民との融和をもって文化の向上と防火思想の普及」を目的として、昭和62年10月9日に発足しました。質の高い演奏を目指し、消防と住民のより一層の融和を推進するため、消防音楽隊の演奏活動を支援していただくボランティアを募り、現在10名が登録されています。



【隊員】	
総指揮者 (外部講師)	1名
隊長	1名
副隊長	2名
隊員	14名
支援隊員	10名

【楽器編成】

フルート	クラリネット	アルトサックス
テナーサックス	バリトンサックス	ホルン
トランペット	トロンボーン	ユーフォニウム
チューバ	スーザーフォン	パーカッション

月	演奏回数	主な演奏活動
令和7年	4月 1回	春の交通安全運動
	5月 2回	第48回園児消防見学会
	6月 1回	高齢大学中央教室
	7月 1回	第25回おおいまつり
	8月 1回	第71回上福岡七夕まつり
	9月 2回	救急フェア
	10月 1回	熟年学級全体会
	12月 3回	ふれあい広場
令和8年	1月 2回	消防出初式
	3月 1回	春季火災予防キャンペーン

計 15 回

予防

防火対象物（150㎡以上）

防火対象物同意状況

立入検査実施状況

法令等に基づく各種届出状況

数量別危険物施設現況

危険物施設等事務処理状況

危険物施設に対する立入検査実施状況

自衛消防隊消防操法競技大会状況

防火対象物数（150㎡以上）

単位：件

令和８年４月１日現在

防 火 対 象 物 別			総数	構 成 市 町 別		
				富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
(1)	イ	劇場、映画館等	－	－	－	－
	ロ	公会堂又は集会場	65	23	24	18
(2)	イ	キャバレー、カフェ等	－	－	－	－
	ロ	遊技場、ダンスホール等	11	8	2	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗	1	－	1	－
(3)	イ	待合、料理店等	2	－	－	2
	ロ	飲食店	98	35	53	10
(4)		百貨店、マーケット等	214	77	91	46
(5)	イ	旅館、ホテル等	8	4	1	3
	ロ	共同住宅	2,795	1,482	1,129	184
(6)	イ	病院、診療所等	75	32	33	10
	ロ	老人福祉施設等	100	40	43	17
	ハ	保育園、老人福祉施設等	114	42	53	19
	ニ	幼稚園等	24	11	10	3
(7)		学校	128	32	74	22
(8)		図書館等	13	6	4	3
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	1	－	1	－
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2	1	1	－
(10)		駅舎等	2	2	－	－
(11)		神社、寺院等	42	23	14	5
(12)	イ	工場又は作業所	502	65	151	286
	ロ	映画スタジオ等	－	－	－	－
(13)	イ	駐車場等	159	58	85	16
	ロ	飛行機等の格納庫	－	－	－	－
(14)		倉庫	471	48	112	311
(15)		前項に該当しない事業場	515	148	229	138
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	481	232	208	41
	ロ	非特定複合用途防火対象物	375	182	157	36
(16の2)		地下街	－	－	－	－
(16の3)		準地下街	－	－	－	－
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財、史跡等の建造物	－	－	－	－
(18)		延長５０メートル以上のアーケード	－	－	－	－
(19)		市町村長の指定する山林	－	－	－	－
(20)		総務省令で定める舟車	－	－	－	－
総 数			6,198	2,551	2,476	1,171

防火対象物同意状況

単位：件

令和7年度

防火対象物別			総数	構成市町別		
				富士見市	ふじみ野市	三芳町
(1)	イ	劇場、映画館等	-	-	-	-
	ロ	公会堂又は集会場	2	-	2	-
(2)	イ	キャバレー、カフェ等	-	-	-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール等	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗	-	-	-	-
(3)	イ	待合、料理店等	-	-	-	-
	ロ	飲食店	2	2	-	-
(4)		百貨店、マーケット等	2	1	1	-
(5)	イ	旅館、ホテル等	-	-	-	-
	ロ	共同住宅	51	29	20	2
(6)	イ	病院、診療所等	4	3	1	-
	ロ	老人福祉施設等	4	2	1	1
	ハ	保育園、老人福祉施設等	5	1	4	-
	ニ	幼稚園等	-	-	-	-
(7)		学校	1		1	-
(8)		図書館等	-	-	-	-
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-	-
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	-	-	-	-
(10)		駅舎等	-	-	-	-
(11)		神社、寺院等	-	-	-	-
(12)	イ	工場又は作業所	5	2	-	3
	ロ	映画スタジオ等	-	-	-	-
(13)	イ	駐車場等	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-
(14)		倉庫	8	2	2	4
(15)		前項に該当しない事業場	13	3	8	2
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	11	10	1	-
	ロ	非特定複合用途防火対象物	2	1	1	-
(16の2)		地下街	-	-	-	-
(16の3)		準地下街	-	-	-	-
(17)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	-	-	-	-
(18)		延長50メートル以上のアーケード	-	-	-	-
(19)		市町村長の指定する山林	-	-	-	-
(20)		総務省令で定める舟車	-	-	-	-
総 数			110	56	42	12

立 入 検 査 実 施 状 況

単位：件

令和7年度

防 火 対 象 物 別			総数	構 成 市 町 別		
				富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
(1)	イ	劇場、映画館等	-	-	-	-
	ロ	公会堂又は集会場	44	19	17	8
(2)	イ	キャバレー、カフェ等	-	-	-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール等	7	5	1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗	-	-	-	-
(3)	イ	待合、料理店等	-	-	-	-
	ロ	飲食店	47	13	29	5
(4)		百貨店、マーケット等	71	22	39	10
(5)	イ	旅館、ホテル等	1	-	-	1
	ロ	共同住宅	166	49	115	2
(6)	イ	病院、診療所等	19	6	9	4
	ロ	老人福祉施設等	47	17	18	12
	ハ	保育園、老人福祉施設等	37	16	19	2
	ニ	幼稚園等	-	-	-	-
(7)		学校	-	-	-	-
(8)		図書館等	-	-	-	-
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-	-
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	-	-	-	-
(10)		駅舎等	-	-	-	-
(11)		神社、寺院等	1	1	-	-
(12)	イ	工場又は作業所	52	4	7	41
	ロ	映画スタジオ等	-	-	-	-
(13)	イ	駐車場等	7	1	3	3
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-
(14)		倉庫	56	2	4	50
(15)		前項に該当しない事業場	48	14	13	21
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	154	71	76	7
	ロ	非特定複合用途防火対象物	76	42	30	4
(16の2)		地下街	-	-	-	-
(16の3)		準地下街	-	-	-	-
(17)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	-	-	-	-
(18)		延長50メートル以上のアーケード	-	-	-	-
(19)		市町村長の指定する山林	-	-	-	-
(20)		総務省令で定める舟車	-	-	-	-
総 数			833	282	380	171

法令等に基づく各種届出状況

単位：件

令和7年度

種別	市町別	総 数	構成市町別		
			富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数		6,944	3,550	2,396	998
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届		303	145	129	29
消 防 用 設 備 等 着 工 届		209	78	71	60
消 防 用 設 備 等 設 置 届		725	323	267	135
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告		2,374	1,040	948	386
防 火 対 象 物 点 検 報 告		493	367	93	33
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選（解）任届		716	396	227	93
消 防 計 画 作 成（変 更）届		764	414	237	113
統括防火・防災管理者選（解）任届		26	13	13	-
全体についての消防計画作成（変更）届		32	21	11	-
自 衛 消 防 組 織 設 置（変 更）届		7	1	2	4
防 災 管 理 点 検 報 告		287	274	5	8
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 開 始 届		22	3	16	3
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届		27	7	9	11
変 電 ・ 発 電 設 備 等 設 置 届		41	9	18	14
煙 火 打 上 げ 届		7	2	-	5
揚 煙 届		96	43	38	15
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 開 始 届		14	1	1	12
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置 届		16	4	6	6
道 路 工 事 届		285	146	97	42
断 水 届		-	-	-	-
露 店 等 の 開 設 届 出 書		500	263	208	29

数量別危険物施設現況

単位：件

令和8年4月1日現在

製造所等の区分 倍 数		総 数	5 倍 以下	5 倍 を こ え 10 倍 以下	10 倍 を こ え 50 倍 以下	50 倍 を こ え 100 倍 以下	100 倍 を こ え 150 倍 以下	150 倍 を こ え 200 倍 以下	200 倍 を こ え 1,000 倍 以下	1,000 倍 を こ え る も の
総 数		334	84	72	96	29	13	8	31	1
製 造 所		8	－	5	2	－	－	－	1	－
貯 蔵 所	小 計	220	68	47	68	17	7	5	7	1
	屋 内 貯 蔵 所	77	20	20	21	4	4	4	3	1
	屋外タンク貯蔵所	14	3	1	10	－	－	－	－	－
	屋内タンク貯蔵所	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	地下タンク貯蔵所	80	27	18	25	5	1	1	3	－
	簡易タンク貯蔵所	2	2	－	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	25	11	2	1	8	2	－	1	－
	屋 外 貯 蔵 所	21	4	6	11	－	－	－	－	－
取 扱 所	小 計	106	16	20	26	12	6	3	23	－
	給 油 取 扱 所	65	－	5	21	9	4	3	23	－
	販 売 取 扱 所	1	－	－	1	－	－	－	－	－
	一 般 取 扱 所	40	16	15	4	3	2	－	－	－

危険物施設等事務処理状況

単位：件

令和7年度

事務処理別 製造所等の区分		総 数	許 可		完 成		完 成 検 査 前 検 査		仮 使用 承認	仮 貯蔵・ 仮取扱承認	廃 止	品 名・ 数量・ 倍数の 変更	保 安監 督者選・ 解任
			設 置	変 更	設 置	変 更	水 圧	水 張					
総 数		109	4	24	4	25	-	2	8	2	7	8	25
製 造 所		5	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-
貯 蔵 所	小 計	58	4	15	4	15	-	-	1	1	-	7	11
	屋 内 貯 蔵 所	17	1	1	1	1	-	-	-	-	-	6	7
	屋外タンク貯蔵所	12	2	3	2	3	-	-	-	-	-	-	2
	屋内タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	25	-	10	-	10	-	-	1	1	-	1	2
	簡易タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	屋 外 貯 蔵 所	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
取 扱 所	小 計	44	-	7	-	8	-	-	6	1	7	1	14
	給 油 取 扱 所	28	-	5	-	5	-	-	4	1	2	-	11
	販 売 取 扱 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一 般 取 扱 所	16	-	2	-	3	-	-	2	-	5	1	3
そ の 他		2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-

危険物施設に対する立入検査実施状況

単位：件

令和7年度

製 造 所 等		総 数	構 成 市 町 別		
			富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数		176	55	28	93
製 造 所		8	2	4	2
貯 蔵 所	小 計	116	33	14	69
	屋 内 貯 蔵 所	34	9	6	19
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	10	10	－	－
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	－	－	－	－
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	38	6	5	27
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	－	－	－	－
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	19	－	－	19
	屋 外 貯 蔵 所	15	8	3	4
取 扱 所	小 計	52	20	10	22
	給 油 取 扱 所	34	16	6	12
	販 売 取 扱 所	1	－	1	－
	一 般 取 扱 所	17	4	3	10

自衛消防隊消防操法競技大会状況

各年度

市 町 別 年 度 別	富士見市		ふじみ野市		三 芳 町		合 計	
	事業 所数	出場 人員	事業 所数	出場 人員	事業 所数	出場 人員	事業 所数	出場 人員
令和 3 年 度	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止（資料配付による代替開催）							
令和 4 年 度	4	18	2	12	9	33	15	63
令和 5 年 度	3	15	2	12	11	36	16	63
令和 6 年 度	2	12	2	12	14	48	18	72
令和 7 年 度	4	18	2	9	11	39	17	66

警防

消防水利状況

ホース現有数

車両現勢

令和7年度導入車両

消防相互応援協定等の締結状況

消防水利現況

単位：基

令和８年４月１日現在

区 分 \ 市町別	総 数	構 成 市 町 別		
		富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数	3,497	1,241	1,387	869
消 火 栓	3,207	1,164	1,247	796
公設防火貯水槽（20m ³ 以上～40m ³ 未満）	157	39	84	34
公設防火貯水槽（40m ³ 以上～100m ³ ）	116	30	52	34
プ ー ル	11	6	2	3
そ の 他	6	2	2	2

ホース現有数

単位：本

令和８年４月１日現在

署 別	ポンプ車両 台 数	総数	40mmホース	50mmホース	65mmホース
総 数	10	846	114	355	377
西 消 防 署	3	263	43	97	123
三 芳 分 署	2	143	20	63	60
東 消 防 署	2	146	17	71	58
富 士 見 分 署	1	135	15	62	58
ふ じ み 野 分 署	2	159	19	62	78

車両現勢

令和8年4月1日現在

	車 両 名 称	車 名・形 式	登録番号	登録年月日	呼 出 名 称	備 考
消防本部	司 令 車	トヨタプリウス ZVW60-4039723	所沢302 た 94-85	令7. 10. 1		リース車両
	総 務 2 号 車	トヨタサクシード DBE-NCP51V	所沢400 つ 75-12	平26. 6. 30		
	総 務 3 号 車	マツダスクラム HBD-DG64V	所沢480 き 94-67	平25. 5. 23		
	総 務 4 号 車	ニッサンパネット DBA-M20	所沢502 た 45-34	平27. 11. 30		
	予 防 1 号 車	シエンタ 5BA-NSP170G	所沢502 は 15-31	令 3. 4. 16		
	予 防 2 号 車	トヨタサクシード DBE-NCP160V	所沢400 つ 94-62	平27. 6. 23		
	指 揮 広 報 車	トヨタ CBF-TRH226K	所沢800 せ 12-19	平27. 2. 26	い り と う け い ぼ う 1	
	警 防 連 絡 車	スズキエブリィ EBD-DA64V	所沢480 か 72-48	平23. 2. 24		
	災 害 用 バ ス	三菱 2WG-BE740G	所沢230 さ 23-25	令7. 9. 1		リース車両
	地 震 体 験 車	いすゞ TPG-NPR85AN	所沢830 す 1-71	平30. 12. 17		
	救 急 指 導 車	スズキエブリィ EBD-DA64V	所沢480 え 95-30	平21. 11. 16		
	指 揮 1 号 車	トヨタ TRH226-0026238	所沢831 も 119	令 6. 3. 1	いりとうしき 1	
	指揮統制連絡車	スズキエブリィ HBD-DA17V	所沢480 け 54-67	平28. 5. 30		
西消防署	西 救 助 1 号 車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	所沢830 す 31-19	平24. 2. 29	い り と う に し き ゅ う じ ょ 1	Ⅲ型
	西 梯 子 1 号 車	ヒノ 2DG-FR1AJA改	所沢830 ち 20-20	令 2. 3. 26	い り と う に し は し ご 1	38m級（直進）
	西 1 号 車	ヒノ 2KG-GX2ABA	所沢830 す 2125	令 7. 4. 25	いりとうにし 1	水1,500ℓ
	西 2 号 車	ヒノ TKG-XZU685M	所沢830 た 20-17	平29. 11. 24	いりとうにし 2	水 600ℓ
	西 3 号 車	ヒノ 2DG-GD2ABA	所沢830 す 21-26	令8. 2. 20	いりとうにし 3	水2,000ℓ
	救 急 西 1 号 車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 せ 20-23	令 5. 2. 22	き ゅ う き ゅ う に し 1	高規格
	救 急 西 2 号 車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 す 20-25	令 7. 2. 26	き ゅ う き ゅ う に し 2	高規格
	救 急 西 3 号 車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 21-20	令 2. 2. 4	き ゅ う き ゅ う に し 3	高規格
	救 急 西 4 号 車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 20-17	平29. 2. 2	き ゅ う き ゅ う に し 4	高規格（予備）
	支 援 車 Ⅲ 型	ヒノ SDG-GX7JKAA	所沢830 す 20-17	平29. 2. 10	い り と う し え ん 1	
	訓 練 指 導 車	トヨタノア DBA-ZRR80G	所沢502 ち 6843	平28. 8. 5		
	資 機 材 運 搬 車	ヒノ TKG-XZU710M	所沢830 す 20-15	平27. 2. 25	い り と う に し し ざ い 1	
	火 災 調 査 1 号 車	スズキワゴンR DBA-MH23S	所沢880 き 1	平23. 8. 29	い り と う に し ち ょ う さ 1	
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-56	平26. 6. 26		250cc
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-57	平26. 6. 26		250cc

	車 両 名 称	車 名・形 式	登録番号	登録年月日	呼 出 名 称	備 考
三 芳 分 署	三芳化学1号車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	所沢831 ふ 1-19	平28. 1. 29	み よ し か が く 1	水1,300ℓ 薬 500ℓ
	三 芳 1 号 車	ヒノ 2RG-XZU640M	所沢830 せ 20-21	令 3. 1. 22	み よ し 1	水900ℓ
	救急三芳1号車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 す 21-21	令 3. 1. 13	きゅうきゅう み よ し 1	高規格
	救急三芳2号車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 22-20	令 2. 3. 6	きゅうきゅう み よ し 2	高規格
	三 芳 広 報 車	ニッサン DBA-C27	所沢830 す 9-19	平30. 2. 21	み よ し こ う ほう 1	
東 消 防 署	東 救 助 1 号 車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	所沢830 せ 21-19	平25. 2. 12	いりとうひがし きゅうじょ 1	Ⅱ 型
	東 1 号 車	ヒノ 2DG-GD2ABA	所沢830 そ 2225	令 7. 4. 25	い り と う ひ が し 1	水2,000ℓ
	東 梯 子 1 号 車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	所沢800 は 6-52	平23. 2. 4	い り と う ひがしはしご 1	15m級
	救 急 東 1 号 車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 さ 20-22	令 3. 12. 3	きゅうきゅう ひ が し 1	高規格
	救 急 東 2 号 車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 さ 22-21	令 3. 2. 26	きゅうきゅう ひ が し 2	高規格
	東 広 報 車	トヨタ DBA-ZRR80G	所沢830 そ 20-17	平29. 9. 26	い り と う ひがしこうほう 1	
	東 連 絡 車	スズキエブリイ EBD-DA64V	所沢480 か 51-24	平22. 10. 20		
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-58	平26. 6. 26		250cc
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-59	平26. 6. 26		250cc
	災 害 用 重 機	ミツビシキャタピラー 303CR-MS3CQ		平17. 7. 7		
	多 目 的 搬 送 車	いすゞ 2RG-NPR88YM	所沢830 さ 22-26	令8. 3. 3	い り と う ひがししざい 1	
富 士 見 分 署	富 士 見 1 号 車	ヒノ 2DG-GD2ABA	所沢830 そ 20-23	令 5. 3. 10	ふ じ み 1	水2,000ℓ
	救急富士見1号車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 す 20-24	令 6. 2. 28	きゅうきゅう ふ じ み 1	災害対応特殊
	富 士 見 広 報 車	ニッサン DBA-NT32	所沢800 せ 50-73	令 2. 12. 3	ふ じ み こ う ほう 1	
ふ じ み 野 分 署	ふ じ み 野 1 号 車	ヒノ 2KG-GX2ABA	所沢830 せ 20-24	令 6. 3. 5	ふ じ み の 1	水1,500ℓ
	ふ じ み 野 2 号 車	ヒノ 2RG-XZU640M	所沢830 す 20-23	令 5. 2. 10	ふ じ み の 2	水1,200ℓ
	救急ふじみ野1号車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 せ 20-26	令 8. 2. 18	きゅうきゅう ふ じ み の 1	高規格
	ふ じ み 野 広 報 車	三菱 3DA-CV1W	所沢830 そ 20-21	令 3. 3. 24	ふ じ み の こ う ほう 1	

※ 緊急消防援助隊登録車両

令和 7 年度導入車両



1 水槽付消防ポンプ自動車
(西消防署)

○主な装備

ハイルーフキャビン

水槽容量：2,000ℓ

三連梯子

双方向式吸管巻取り装置

電動式ホースカー



2 多目的搬送車
(東消防署)

○主な装備

セーフティローダー

車載ウインチ

アコーディオン幌

かご台車



3 高規格救急自動車
(東消防署ふじみ野分署)

○主な装備

患者監視装置

呼吸管理用資機材

気道確保用資機材

自動体外式除細動器

呼吸・循環管理資機材

観察用資機材等

消防相互応援協定等の締結状況

令和 8 年 4 月 1 日現在

1 消防相互応援協定

番号	締結年月日	協定内容	締結団体等
1	平成 1 9 年 7 月 1 日	埼 玉 県 下 消 防 相 互 応 援 協 定	埼玉県下消防本部
2	平成 1 8 年 9 月 2 0 日	消 防 相 互 応 援 協 定	さいたま市
3	平成 3 0 年 4 月 1 日	消 防 相 互 応 援 協 定	川越地区消防組合
4	平成 3 0 年 4 月 1 日	消 防 相 互 応 援 協 定	埼玉西部消防組合
5	平成 3 0 年 4 月 1 日	消 防 相 互 応 援 協 定	朝霞地区一部事務組合

2 その他協定

番号	締結年月日	協定内容	締結団体等
1	平成 3 年 3 月 2 9 日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定	埼玉県
2	平成 1 8 年 1 2 月 1 日	鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	埼玉県、鉄道事業者 1 1 社、埼玉県下消防本部
3	平成 1 9 年 1 1 月 2 7 日	埼玉県と消防機関及び埼玉DMA Tの災害時における高速自動車国道等の使用の取扱いに関する協定	埼玉県、埼玉DMA T、登録医療機関、埼玉県下消防本部
4	平成 2 8 年 4 月 1 日	エボラ出血熱患者等の移送に関する協定	埼玉県
5	平成 3 0 年 4 月 1 日	大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定	埼玉中央生コン協同組合、東和アークス株式会社
6	平成 3 0 年 1 0 月 4 日	大規模な火災その他の災害等発生時の消防活動支援協力に関する協定	富士見市災害対策協力会、ふじみ野市災害対策協会、三芳町災害対策協力会
7	平成 3 1 年 4 月 1 日	関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定	埼玉県下 1 0 市町村等
8	令和 2 年 4 月 3 日	災害等発生時の無人航空機を活用した消防活動支援協力に関する協定	富士見市災害対策協力会、ふじみ野市災害対策協会、三芳町災害対策協力会

指令

消防通信系統図

無線局一覽

覺知方法別災害等受信状況

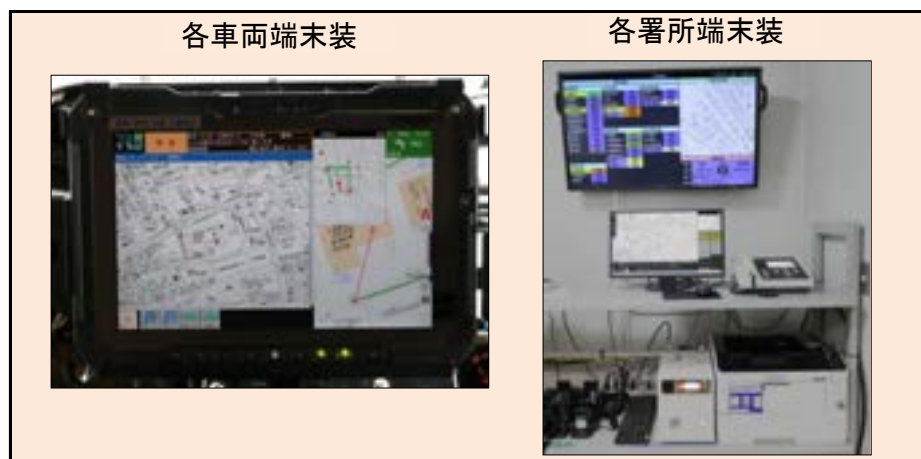
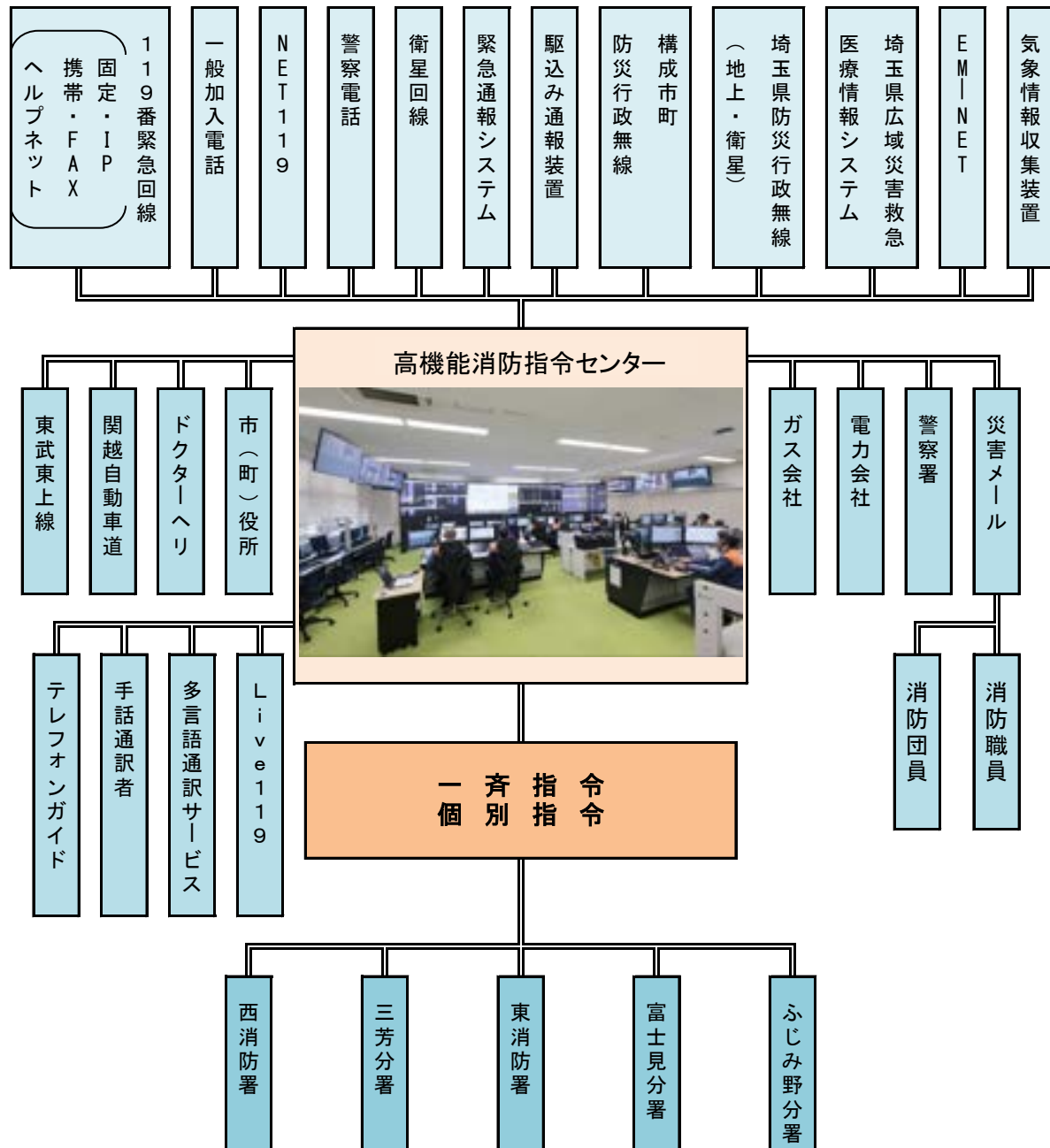
気象状況

気象情報受理状況

口頭指導実施状況

消防通信系統図

令和8年4月1日現在



無線局一覧

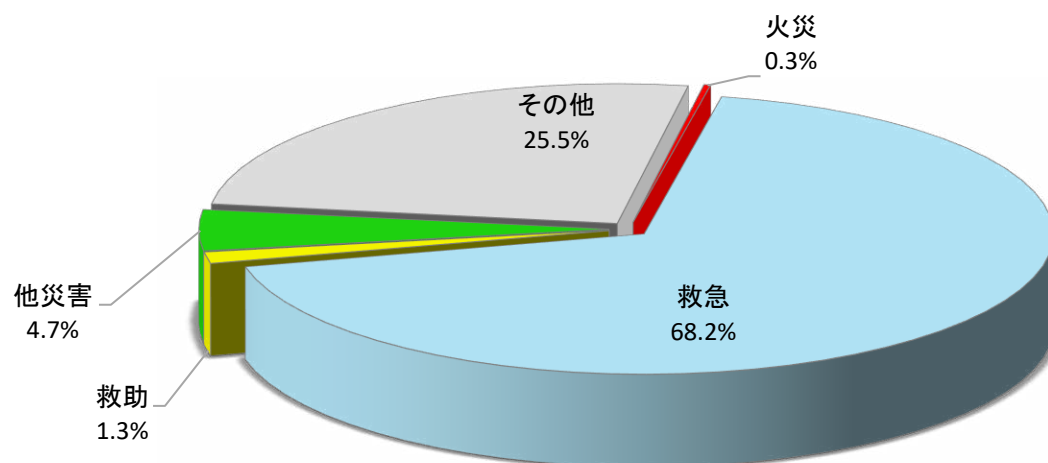
令和8年4月1日現在

	デジタル無線機				アナログ無線機
通 信 系 統	活動波 A・B・C 主運用波 3 統制波 1・2・3				活動波 (2波) 関東共通波 防災相互波 緊急消防援助隊 (17波)
無 線 局 種 別	基地局	移 動 局			移 動 局
無 線 機 種 類		車載無線機	携帯無線機	可搬型無線機	署活動系無線機
数 量	1	33	31	8	77
出 力	20W	10W	5W	10W	1W

覚知方法別災害等受信状況

令和7年中

	火 災	救 急	救 助	他 災 害	そ の 他	合 計
固 定 1 1 9	2	1,432	7	118	780	2,339
I P 1 1 9	8	4,762	6	171	617	5,564
携 帯 1 1 9	36	8,905	142	518	2,513	12,114
N E T 1 1 9 F A X 1 1 9	0	0	0	1	1	2
警 察 電 話	1	335	125	69	1,214	1,744
加 入 電 話	4	95	11	51	4	165
緊 急 通 報 シ ス テ ム	0	163	1	8	32	204
そ の 他	9	64	9	153	739	974
合 計	60	15,756	301	1,089	5,900	23,106



気象状況

令和7年中

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度 ℃	最 高	14.0	16.9	26.1	28.9	32.6	36.5	38.1	40.1	36.8	26.7	24.2	20.5
	最 低	-2.6	-2.4	0.0	3.7	10.6	14.5	20.6	23.0	17.1	10.9	3.0	-2.3
	平 均	5.5	5.4	10.1	15.3	18.8	24.0	28.8	29.8	26.2	16.4	12.3	7.5
湿度 %	最 高	99.1	97.7	99.7	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	96.0	95.6	96.0
	最 低	13.0	13.3	16.1	17.5	33.0	25.5	38.8	34.1	36.9	26.1	23.6	18.9
	平 均	54.6	45.5	63.9	68.5	75.7	77.2	77.9	75.8	79.1	69.2	58.5	56.1
風速 m/s	最 大	18.3	11.2	19.1	20.6	15.9	9.3	17.6	17.5	15.7	13.6	19.6	17.1
	平 均	1.9	2.4	2.5	2.6	2.3	2.3	2.8	2.3	1.8	1.9	1.8	1.9
降水量 mm		24.5	6.5	123.0	47.0	69.5	96.5	87.5	25.5	91.0	83.0	0.5	25.0

気象情報受理状況

令和7年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大雨特別警報												
大雨警報						1						
洪水警報						1						
大雪警報												
大雨注意報					1	3	4	4	4	1		
洪水注意報					1	3	1	1	4			
雷注意報	2	1	3	7	8	8	16	18	13	2	2	
強風注意報	7	10	5	2	2						2	3
乾燥注意報	4	24	4	4	1						3	2
濃霧注意報		1	7	10	6	6	2	1		3	2	2
霜注意報			4	7	1							
大雪注意報			3									
着雪注意報			3									
低温注意報												

口頭指導実施状況

令和7年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
心肺蘇生法	42	34	26	25	22	29	24	31	24	34	23	46	360
気道異物除去法	4	1	1	1	1	0	0	1	0	2	2	2	15
止血法	3	2	2	1	2	4	4	3	1	1	1	0	24
熱 傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
指趾切断	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	49	38	29	27	25	33	29	35	25	37	26	48	401
拒 否	2	6	2	4	3	3	0	9	7	1	3	8	48

火災

火災の概況

損害額の推移

火災による死傷者の推移

用途別建物火災発生件数

月別火災発生状況

時間帯別火災発生状況

出火原因別火災発生状況

火 災 の 概 況

令和7年中

		単位	総 数	構 成 市 町 別		
				富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
総 数		件	46	15	17	14
火 災 件 数	建 物	件	28	9	12	7
	林 野		-	-	-	-
	車 両		1	-	-	1
	そ の 他		17	6	5	6
焼 損 棟 数	全 焼	棟	10	4	3	3
	半 焼		3	1	2	-
	部 分 焼		14	4	7	3
	ぼ や		32	10	12	10
建 物 焼 損 床 面 積		m ²	870	213	482	175
建 物 焼 損 表 面 積		m ²	208	31	83	94
林 野 焼 損 面 積		a	-	-	-	-
死 者		人	4	2	1	1
負 傷 者		人	15	6	6	3
り 災 世 帯		世帯	47	17	21	9
り 災 人 員		人	106	40	40	26
損 害 額		千円	71,359	23,313	33,589	14,457
出 火 率		件	1.7	1.3	1.5	3.8

備考：「出火率」とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

損害額の推移

単位：千円

各年中

年別 区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災件数	40	58	39	41	45	46
損害額	35,285	123,116	74,468	77,680	30,989	71,359
前年比(%)	45	349	60	104	40	230
損害額／件	882	2,123	1,909	1,895	689	1,551
前年比(%)	57	241	90	99	36	225

火災による死傷者の推移

単位：人

各年中

年別 区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
総数	10	17	13	7	10	19
死者	3	5	2	0	0	4
負傷者	7	12	11	7	10	15

用途別建物火災発生件数

単位：件

各年中

用途別 年別	総数	専用住宅	共同住宅	店舗併用住宅	複合用途(特定)	複合用途(非特定)	倉庫・物置	工場・作業所	店舗	病院・診療所	事務所	その他
令和2年	27	12	8	2	1	-	-	1	1	-	-	2
令和3年	36	19	7	1	1	-	3	4	1	-	-	-
令和4年	26	9	8	-	-	-	3	5	-	-	-	1
令和5年	18	5	3	-	1	-	3	3	-	-	1	2
令和6年	24	10	5	-	2	-	3	1	-	-	-	3
令和7年	28	9	8	1	1	-	4	3	1	-	1	-

月別火災発生状況

単位：人

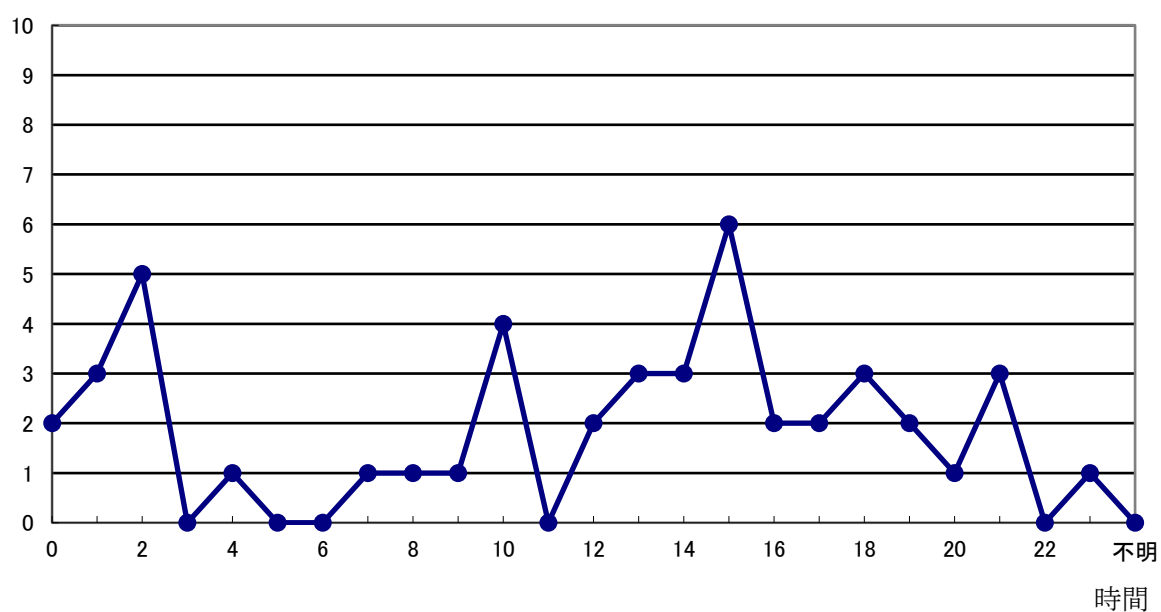
令和7年中

月 別	市 町 別	総 数	構 成 市 町 別		
			富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
総 数		46	15	17	14
1 月		3	1	1	1
2 月		3	1	2	－
3 月		11	4	5	2
4 月		4	3	－	1
5 月		3	1	1	1
6 月		2	1	1	－
7 月		4	1	1	2
8 月		2	1	1	－
9 月		3	－	1	2
10 月		4	－	3	1
11 月		3	1	－	2
12 月		4	1	1	2

時間帯別火災発生状況

単位：件

令和7年中



出火原因別火災発生状況

単位：件

令和7年中

区 分	総 数	構成市町別		
		富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数	46	15	17	14
放 火 ・ 放 火 の 疑 い	11	2	4	5
こ ん ろ	2	1	1	-
た ば こ	3	1	2	-
た き 火	2	-	1	1
火 遊 び	-	-	-	-
電 灯 電 話 の 配 線	2	1	1	-
ス ト ー ブ	2	-	1	1
排 気 管	1	-	-	1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	-	-	-	-
配 線 器 具	1	-	-	1
火 入 れ	1	1	-	-
焼 却 炉	-	-	-	-
電 気 機 器	5	2	1	2
溶 接 機 ・ 切 断 機	1	-	-	1
灯 火	1	1	-	-
風 呂 釜	-	-	-	-
電 気 装 置	1	1	-	-
内 燃 機 関	-	-	-	-
炉	-	-	-	-
衝 突 の 火 花	-	-	-	-
取 灰	-	-	-	-
か ま ど	-	-	-	-
煙 突 ・ 煙 道	-	-	-	-
こ た つ	-	-	-	-
ボ イ ラ ー	-	-	-	-
そ の 他	6	2	3	1
不 明	7	3	3	1

救急・救助

救急業務の実施体制

救急活動概要

年別救急出場件数及び搬送人員の推移

5か年の救急出場の動向

救急出場種別

搬送者傷病程度種別

5か年の事故種別構成比

救急隊による応急処置実施状況

年齢区分別事故種別搬送人員の状況

曜日別救急出場件数

月別救急出場件数

時間帯別搬送人員

発生場所別搬送人員

医療機関別搬送人員

他の医療機関への転院搬送依頼件数

医療機関別搬送状況

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

急病に係る疾病分類別年齢区分、傷病程度別搬送人員の状況

現場到着所要時間別状況

収容所要時間別状況

署内救急活動事後事例研究会実施状況

救助統計

主な救助用資機材の保有状況

救急業務の実施体制

令和8年4月1日現在

○ 救急隊員有資格者総数	245 人
○ 救急救命士有資格者数	66 人
○ 救急隊員数	77 人
○ 高規格救急自動車保有台数 (災害対応特殊救急自動車含む)	10 台

救急活動概要

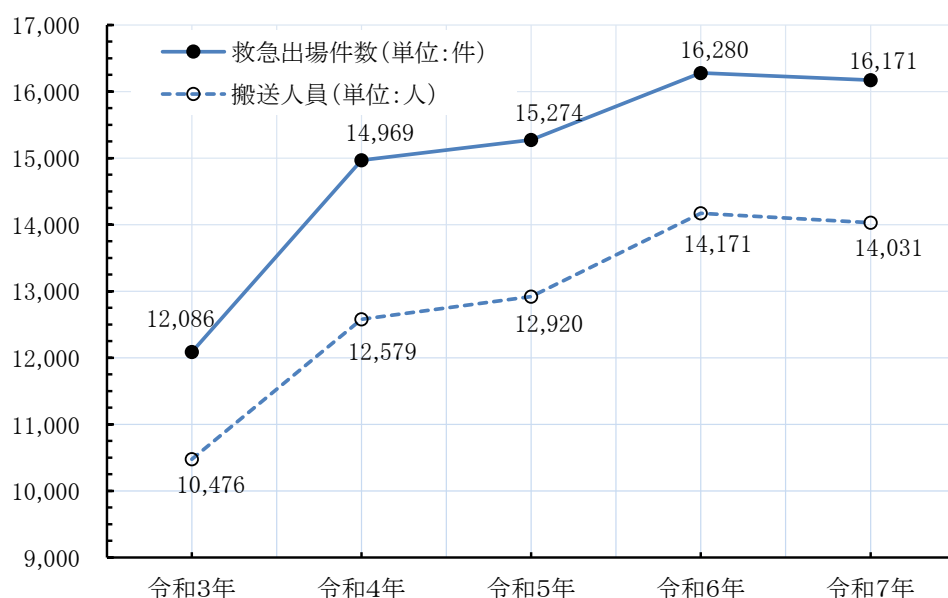
年 別 区 分		令和7年 A	令和6年 B	前 年 比 較	
				増 減 数	増 減 率
				$A - B = C$	$C \div B$
出 場 件 数		16,171	16,280	-109	-0.7%
傷 病 者 搬 送 件 数		13,979	14,137	-158	-1.1%
傷 病 者 不 搬 送 件 数		2,192	2,143	49	2.3%
医 師 搬 送 件 数		2	0	2	皆増
資 器 材 等 搬 送 件 数		7	5	2	40.0%
傷 病 者 搬 送 人 員		14,031	14,171	-140	-1.0%
内	男 性	7,089	7,197	-108	-1.5%
訳	女 性	6,942	6,974	-32	-0.5%
1 日 平 均 出 場 件 数		44.3	44.6	入間東部地区人口 令和6年1月1日現在 264,754人 令和7年1月1日現在 265,340人 昨年比586人	
発 生 率		32.5 分に1件	32.2 分に1件		
救 急 車 利 用 率		18.9 人に1人	18.7 人に1人		
人口1万人当りの出場件数		609.4 件	614.9 件		

年別救急出場件数及び搬送人員の推移

令和7年中

事故種別		合	火	自然	水	交	労働	運動	一般	加	自	急	そ	
		計	災	災害	難	通	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	
総 数		出場件数 (件)	16,171	31	—	—	724	94	80	2,328	64	141	11,088	1,621
		搬送人員 (人)	14,031	14	—	—	636	90	75	2,052	43	94	9,659	1,368
市町別	富 士 見 市	出場件数 (件)	6,839	11	—	—	273	25	33	973	32	58	4,677	757
		搬送人員 (人)	5,853	7	—	—	245	24	32	837	20	40	4,017	631
	ふ じ み 野 市	出場件数 (件)	6,566	12	—	—	292	27	28	1,039	25	62	4,749	332
		搬送人員 (人)	5,731	5	—	—	261	26	25	931	18	39	4,177	249
	三 芳 町	出場件数 (件)	2,755	7	—	—	153	42	19	316	7	21	1,660	530
		搬送人員 (人)	2,441	2	—	—	125	40	18	284	5	15	1,464	488
	管 外	出場件数 (件)	11	1	—	—	6	—	—	—	—	—	2	2
		搬送人員 (人)	6	—	—	—	5	—	—	—	—	—	1	—
年 別	令 和 3 年	出場件数 (件)	12,086	39	1	—	700	108	49	1,729	62	110	7,934	1,354
		搬送人員 (人)	10,476	12	1	—	627	104	46	1,523	38	82	6,895	1,148
	令 和 4 年	出場件数 (件)	14,969	37	—	1	751	105	54	2,005	75	144	10,375	1,422
		搬送人員 (人)	12,579	11	—	—	648	101	56	1,724	40	95	8,703	1,201
	令 和 5 年	出場件数 (件)	15,274	33	—	—	759	130	89	2,066	74	164	10,628	1,331
		搬送人員 (人)	12,920	6	—	—	632	122	81	1,802	49	110	9,012	1,106
	令 和 6 年	出場件数 (件)	16,280	28	—	—	728	124	77	2,346	72	131	11,141	1,633
		搬送人員 (人)	14,171	10	—	—	628	121	70	2,037	51	94	9,742	1,418
	令 和 7 年	出場件数 (件)	16,171	31	—	—	724	94	80	2,328	64	141	11,088	1,621
		搬送人員 (人)	14,031	14	—	—	636	90	75	2,052	43	94	9,659	1,368

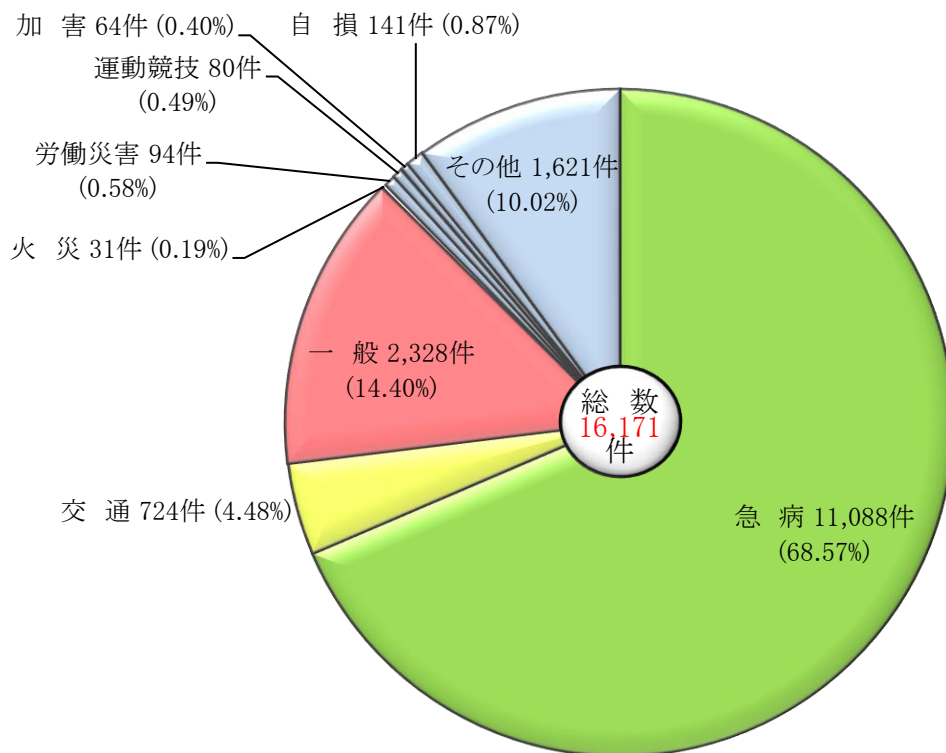
5か年の救急出場の動向(各年中)



※令和3年は、構成市町以外への救急出場0件。
 ※令和4年は、構成市町以外への救急出場1件／搬送なしを含む。
 ※令和5年は、構成市町以外への救急出場2件／搬送なしを含む。
 ※令和6年は、構成市町以外への救急出場5件／搬送なしを含む。
 ※令和7年は、構成市町以外への救急出場11件／搬送なしを含む。

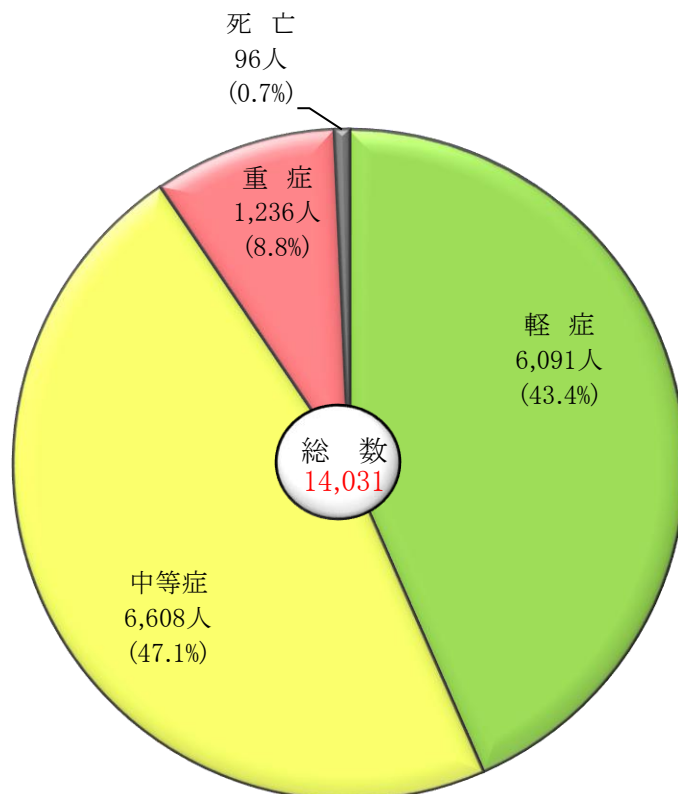
救急出場種別

令和7年中



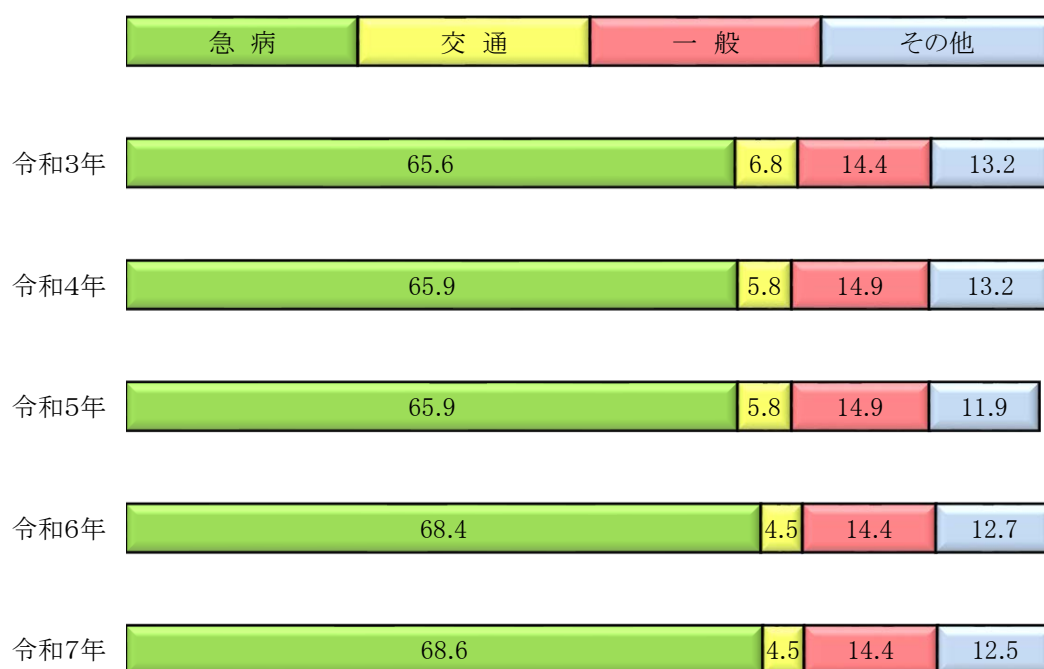
搬送者傷病程度種別

令和7年中



5か年の事故種別構成比

単位: %



救急隊による応急処置実施状況

単位: 件

令和7年中

事故種別	搬送人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	うち	うち	保温	被覆	在宅療法継続	ショックパンツ	除細動	静脈路確保	うち	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器による聴診	血中酸素飽和度の測定	心電図	血糖測定	エビペン投与	ブドウ糖投与	合計
								ラリンゲルチューブ	気管挿管							心肺停止前										
急病	9,659	67	26	92	242	2,095	349	146	25	4,517	50	383	—	32	281	54	141	9,301	9,263	6,180	9,446	6,432	1,014	—	64	49,975
交通	636	45	133	1	—	20	4	—	—	214	121	3	—	—	—	—	—	609	631	300	633	173	5	—	—	2,892
一般負傷	2,052	220	136	4	20	98	24	8	10	832	500	41	—	—	20	3	13	1,972	1,972	746	2,024	780	57	—	—	9,459
その他	1,684	40	52	6	12	401	17	7	—	816	63	86	—	1	11	2	7	1,582	1,600	652	1,653	895	7	—	—	7,901
計	14,031	372	347	103	274	2,614	394	161	35	6,379	734	513	—	33	312	59	161	13,464	13,466	7,878	13,756	8,280	1,083	—	64	70,227

年齢区分別事故種別搬送人員の状況

単位：人

令和7年中

事故種別 年齢区分		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
総数		9,659	636	2,052	1,684	14,031
新生児		6	—	—	66	72
乳幼児		481	17	130	32	660
少年		268	55	67	76	466
成人		2,645	338	296	609	3,888
高齢者		6,259	226	1,559	901	8,945

年齢区分は次による。

- ・新生児 生後28日未満の者
- ・乳幼児 生後28日以上
満7歳未満の者
- ・少年 満7歳以上
満18歳未満の者
- ・成人 満18歳以上
満65歳未満の者
- ・高齢者 満65歳以上の者

曜日別救急出場件数

単位：件

令和7年中

曜日別	月	火	水	木	金	土	日	合計
出場件数	2,534	2,301	2,349	2,272	2,303	2,198	2,214	16,171
1日平均 出場件数	48.73	44.25	44.32	43.69	44.29	42.27	42.58	44.30

月別救急出場件数

単位：件

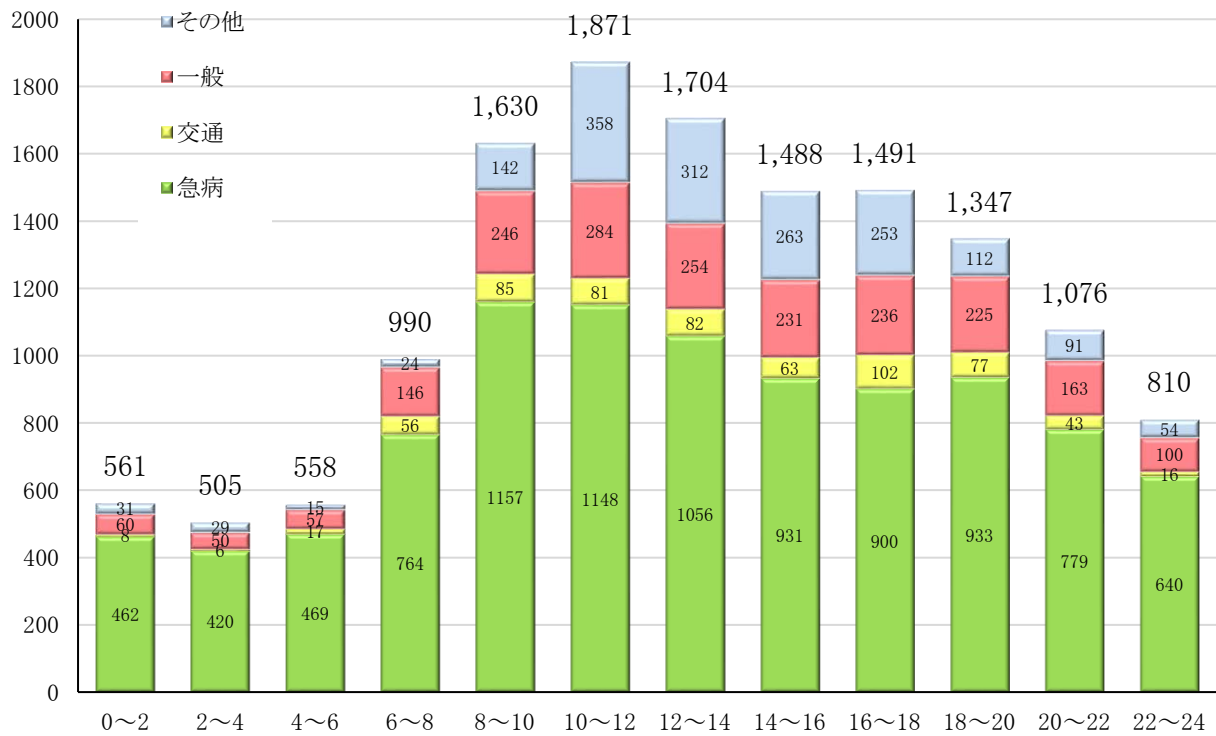
令和7年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出場件数	1,553	1,333	1,356	1,241	1,197	1,301	1,377	1,388	1,346	1,232	1,461	1,386	16,171
1日平均 出場件数	50.10	47.61	43.74	41.37	38.61	43.37	44.42	44.77	44.87	39.74	48.70	44.71	44.30

時間帯別搬送人員

令和7年中

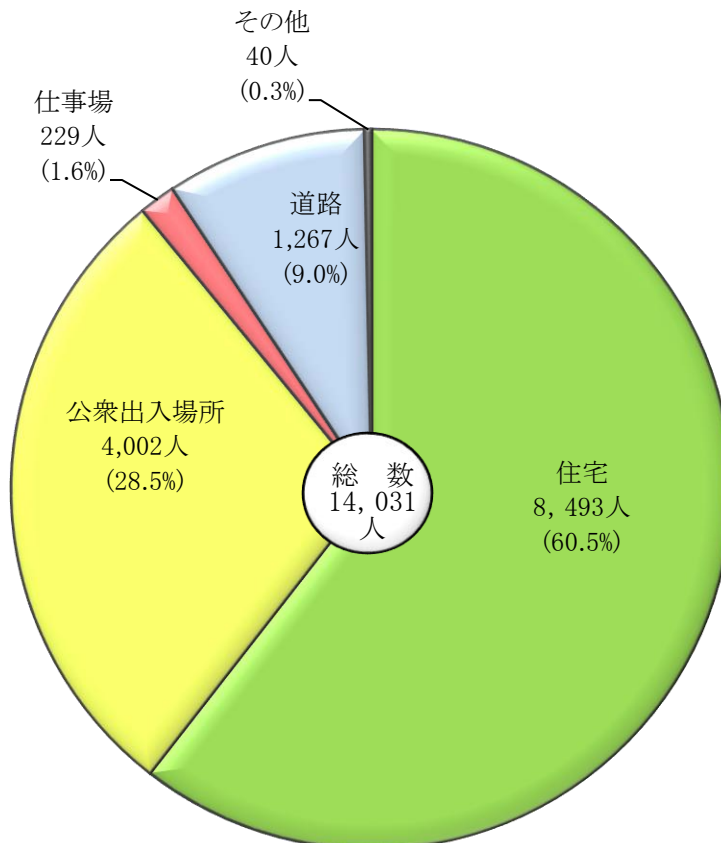
単位:人



単位:時

発生場所別搬送人員

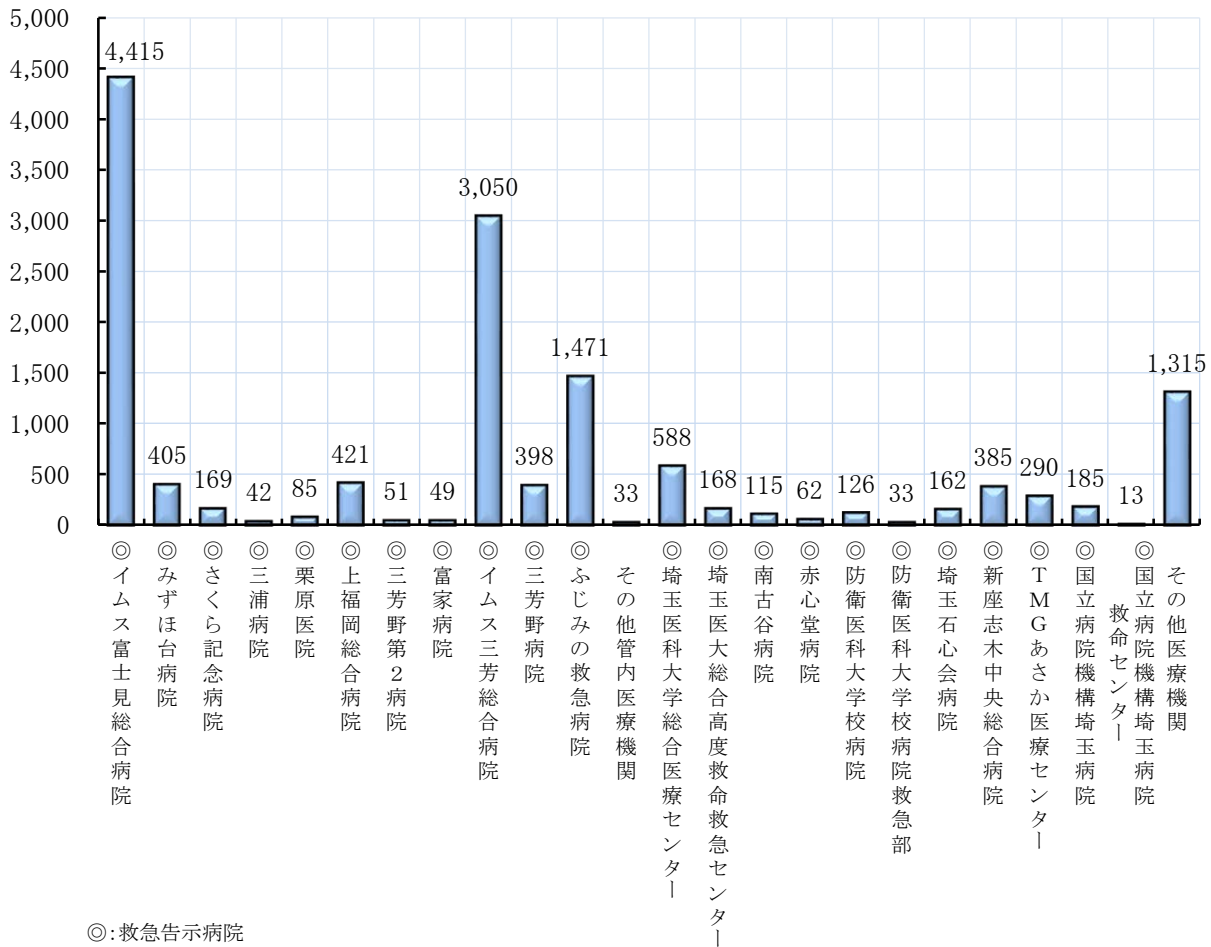
令和7年中



医療機関別搬送人員

令和7年中

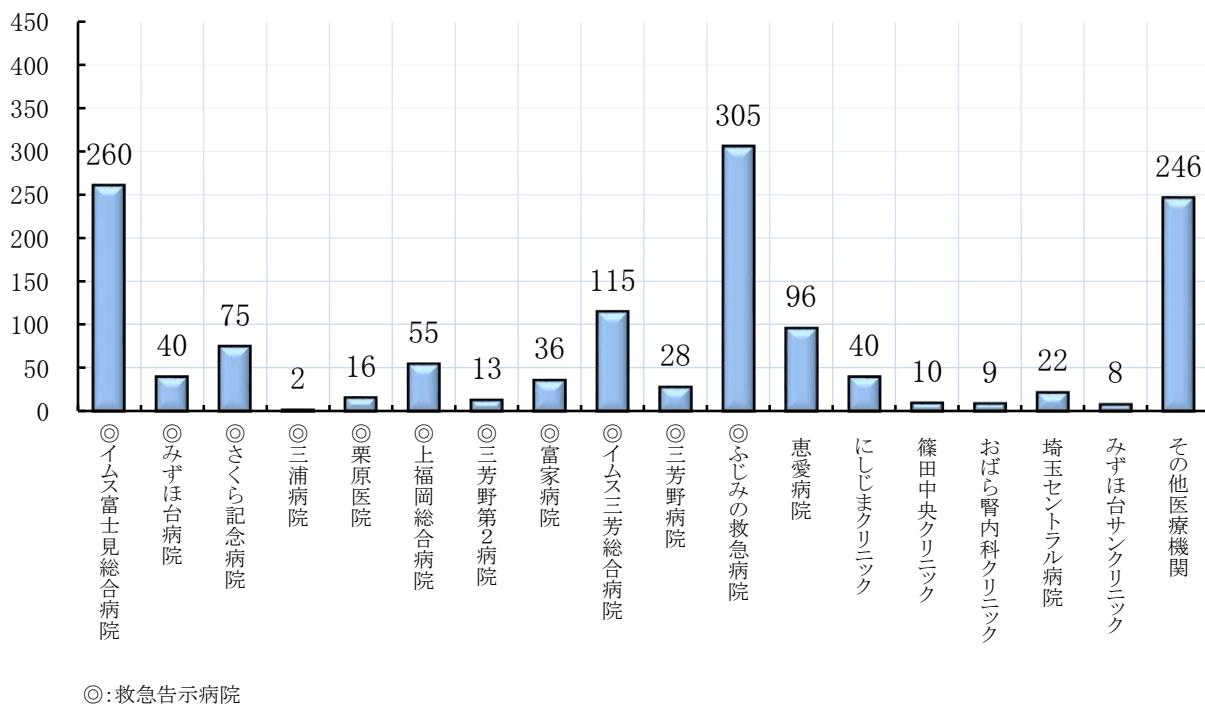
単位:人



他の医療機関への転院搬送依頼件数

令和7年中

単位:件



医療機関別搬送状況

単位：人

令和7年中

区 分	医 療 機 関 別	救急告示医療機関				その他の医療機関				合 計				そ の 他 の 場 所	合 計	
		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的				計
				病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			
合 計		473	41	13,329	117	8	—	24	37	481	41	13,353	154	14,029	2	14,031
管 内		—	—	10,475	85	—	—	10	21	—	—	10,485	106	10,591	1	10,592
管 外		473	41	2,854	32	8	—	14	16	481	41	2,868	48	3,438	1	3,439

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

令和7年中

応急手当指導種別	指導回数	参加人員	延べ指導時間
総数	173 回	3,106 人	361 時間
普通救命講習Ⅰ	51 回	768 人	153 時間
普通救命講習Ⅱ	— 回	— 人	— 時間
普通救命講習Ⅲ	14 回	216 人	42 時間
上級救命講習	3 回	69 人	24 時間
救命入門コース	2 回	20 人	4 時間
応急手当講習	103 回	2,033 人	138 時間

急病に係る疾病分類別年齢区分、傷病程度別搬送人員の状況

単位：人											令和7年中
年齢区分 分類項目	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
総数	6	481	268	2,645	6,259	90	871	4,543	4,155	—	9,659
脳疾患	—	2	2	100	350	—	88	313	53	—	454
心疾患	—	1	4	94	433	5	89	294	144	—	532
消化系	—	25	15	220	351	—	27	335	249	—	611
呼吸系	2	45	20	89	679	2	133	539	161	—	835
精神系	—	1	2	102	28	—	2	25	106	—	133
感覚系	—	17	22	131	183	—	15	119	219	—	353
泌尿系	—	1	4	108	94	—	8	75	124	—	207
新生物	—	—	—	28	108	2	41	85	8	—	136
その他	1	38	46	307	706	—	80	486	532	—	1,098
不明確	3	351	153	1,466	3,327	81	388	2,272	2,559	—	5,300

現場到着所要時間別状況

単位：件		令和7年中						
現場到着時間 事故種別	総数	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	平均 所要時間 (分)	
			5分未満	10分未満	20分未満			
総数	16,171	25	67	6,729	8,943	407	10.2	
急病	11,088	9	23	4,405	6,412	239	10.3	
交通	724	4	5	327	361	27	9.8	
一般負傷	2,328	3	6	936	1,327	56	10.2	
その他	2,031	9	33	1,061	843	85	9.6	

収容所要時間別状況

単位：人								令和7年中
収容所要時間 事故種別	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間 (分)
総数	14,031	—	17	674	10,522	2,682	136	53.9
急病	9,659	—	11	442	7,300	1,809	97	54.8
交通	636	—	1	30	474	126	5	48.6
一般負傷	2,052	—	2	74	1,489	464	23	53.8
その他	1,684	—	3	128	1,259	283	11	50.3

署内救急活動事後事例研究会実施状況



アドバイザーとして埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターの医師を招き、シミュレーションや事例検討を行い、日々高度化が求められる救急に対応するため、救急隊員のほか、消防隊員、救助隊員、指令担当者が参加しています。また、地域救急医療の中心を担っている埼玉医科大学総合医療センター（ER）・富士見総合病院・イムス三芳総合病院から医師・看護師・救急救命士・地域連携室の方々にご参加頂いています。

令和7年度

開催回数	開催日	講師	検討議題	参加者数
第220回	5月20日	安藤陽児	増加する救急支援活動における消防隊の役割と課題と検証 57歳男性 心窩部痛について	58
第221回	7月15日	安藤陽児	POT (Paramedic Orbital Training) の実施について	43
第222回	9月16日	安藤陽児	意識障害の2議題について考える 12誘導心電図を活用した事例について	33
第223回	10月21日	安藤陽児	PROST (Prehospital Orbital Simulation Training) 実施について	42
第224回	11月18日	安藤陽児	多数傷病者発生時の対応について	49
第225回	12月16日	安藤陽児	病院前救護のための産科救急を学習する	48
第226回	1月20日	安藤陽児	乳幼児のCPA ドクターヘリを使用した事案について 心肺停止傷病者に対する特定行為について	48
第227回	2月17日	安藤陽児	病院受診を拒否している人の救急事案について 病院連絡訓練	34

参加者合計： 355

救 助 統 計

救助出場件数状況

年 次	合 計	災 害 種 別									
		火 災		交 通	水 難	風 水 害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	そ の 他
		建 物	以 外								
令和3年1月～12月	275	18	1	12	-	-	2	231	1	-	10
令和4年1月～12月	265	22	2	14	3	-	1	212	1	-	10
令和5年1月～12月	312	18	3	22	2	-	2	257	-	-	8
令和6年1月～12月	287	12	5	12	-	-	-	249	2	-	7
令和7年1月～12月	331	28	1	17	-	-	2	276	-	-	7

事故種別救助人員

年 次	合 計	災 害 種 別									
		火 災		交 通	水 難	風 水 害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	そ の 他
		建 物	以 外								
令和3年1月～12月	88	5	-	4	-	-	1	73	-	-	5
令和4年1月～12月	94	4	-	9	2	-	4	70	-	-	5
令和5年1月～12月	90	-	-	10	-	-	1	74	-	-	5
令和6年1月～12月	87	1	-	4	-	-	-	78	1	-	3
令和7年1月～12月	89	1	-	9	-	-	-	77	-	-	2

事故種別活動人員

年 次	合 計	災 害 種 別									
		火 災		交 通	水 難	風 水 害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	そ の 他
		建 物	以 外								
令和3年1月～12月	3,416	500	31	128	-	-	17	2,593	23	-	124
令和4年1月～12月	3,264	605	60	141	48	-	15	2,235	14	-	146
令和5年1月～12月	3,614	454	67	377	33	-	14	2,600	-	-	69
令和6年1月～12月	3,337	307	109	135	-	-	-	2,698	25	-	63
令和7年1月～12月	3,913	636	27	222	-	-	33	2,963	-	-	32

主な救助用資機材の保有状況

令和8年4月1日現在

分類	品名	西消防署 高度救助隊	東消防署 特別救助隊
一般救助用器具	かぎ付はしご	1	1
	三連はしご	1	1
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	1	1
	空気式救助マット	1	1
	救命索発射銃	1	1
	サバイバースリング又は救助用縛帯	1	1
	平担架	1	1
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	2
	油圧スプレッダー	1	1
	可搬ウィンチ	1	1
	マンホール救助器具	1	1
	マット式空気ジャッキ一式	1	1
	大型油圧スプレッダー	1	1
	救助用支柱器具	1	1
切断用器具	油圧切断機	1	1
	エンジンカッター	1	1
	ガス溶断器	1	1
	チェーンソー	1	1
	鉄線カッター	1	1
	空気鋸	1	1
	大型油圧切断機	1	1
	空気切断機	1	1
破壊用器具	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	0
	万能斧	2	2
	携帯用コンクリート破壊器具	1	1
	削岩機	4	1
	ハンマドリル	1	1
検知・測定用器具	化学剤検知器	1	0
	可燃性ガス測定器	2	1
	有毒ガス測定器	1	1
	放射線測定器	1	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	5	5
	空気補充用ボンベ	7	12
	酸素呼吸器	5	5
	簡易呼吸器	2	4
	防塵マスク	5	5
	送排風機	1	1
隊員保護用器具	耐電手袋	5	5
	携帯警報器	5	5
	防毒マスク	5	5
	化学防護服	2	2
	陽圧式化学防護服	5	5
	耐熱服	2	0
	放射線防護服	4	0
	耐電資機材（上衣・下衣・長靴・特殊ヘルメット）	2	2
検 索 用 器 具	簡易画像探査機	1	1
除 染 用 器 具	除染シャワー	1	1
	除染剤散布器	2	2
	救命胴衣	5	25
水難救助用器具	救命浮環	3	2
	救命ボート	1	2
	船外機	0	1
山岳救助用器具	バスケット担架	1	1
高度救助用器具	画像探索機	2	1
	地中音響探知機	1	0
	熱画像直視装置	1	1
	夜間用暗視装置	1	0
	地震警報器	1	0
	電磁波探査装置	1	0

消防団

消防団車庫の現況・配置

消防団の組織

沿革

消防団諮問委員・消防団長

消防団員の定員と実員数

消防団員の配置状況

消防団員の年齢

消防団員の勤続年数

消防団車両現勢

消防団車庫の現況

令和8年4月1日現在

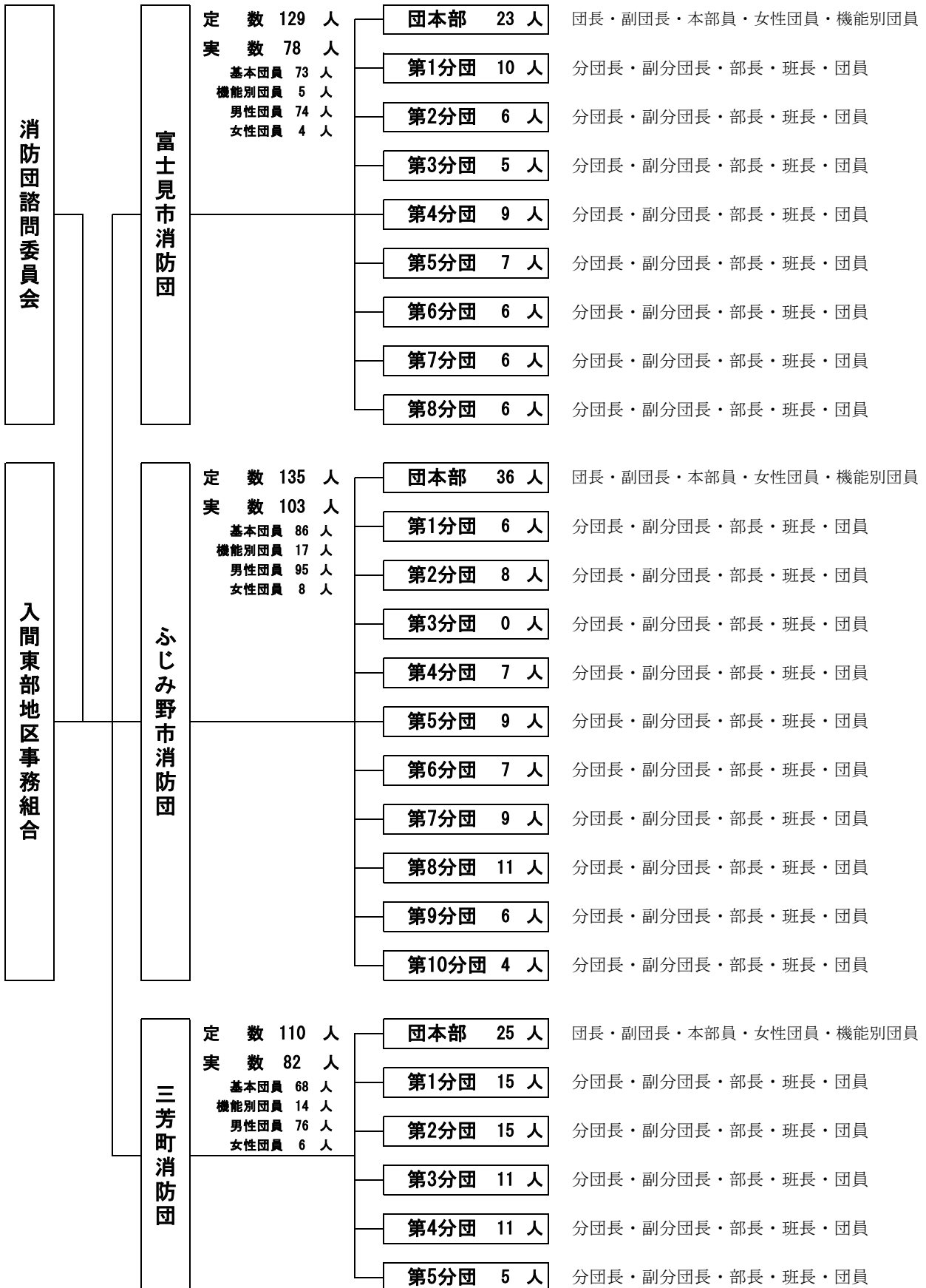
消防団別消防団員数・消防ポンプ車台数・消防車両台数・消防用艇台数・消防用機材台数					
分団名		所在地	建築年月	構 造	延べ面積
富士見市消防団	第1分団	勝瀬734-3	平成24年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	73.08㎡
	第2分団	鶴馬1932-8	平成23年3月	木造合金メッキ鋼板葺平屋建	105.00㎡
	第3分団	鶴馬2-18	平成27年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	72.69㎡
	第4分団	東大久保83-5	平成25年3月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	99.37㎡
	第5分団	下南畑96-1	平成13年3月	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	76.00㎡
	第6分団	下南畑1148-2	平成26年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	73.08㎡
	第7分団	水子1783-2	平成18年3月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	98.38㎡
	第8分団	東みずほ台2-17	平成29年3月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	68.31㎡
ふじみ野市消防団	第1分団	福岡中央2-1-6	平成17年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	63.61㎡
	第2分団	鶴ヶ岡2-17-18	平成22年2月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	82.21㎡
	第3分団	川崎174-10	平成20年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	68.58㎡
	第4分団	築地2-9	平成19年2月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	72.68㎡
	第5分団	大井中央2-8-5	平成9年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	52.99㎡
	第6分団	駒林元町1-7-4	平成30年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	81.20㎡
	第7分団	苗間371-1	平成17年2月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	52.99㎡
	第8分団	大井2-4-8	平成13年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	52.99㎡
	第9分団	福岡新田107-4	平成14年2月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	60.03㎡
	第10分団	大井武蔵野1434-3	平成7年9月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	50.96㎡
三芳町消防団	第1分団	上富1908-9	令和2年10月	軽量鉄骨造鋼板折板葺平屋建	59.31㎡
	第2分団	上富188-4	平成8年3月	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	58.93㎡
	第3分団	北永井286-7	平成4年5月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	59.25㎡
	第4分団	藤久保1032-1	令和4年11月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	59.31㎡
	第5分団	竹間沢877-1	令和3年10月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	59.31㎡

消防団車庫の配置



消防団の組織

令和8年4月1日現在



沿 革

● 入間東部地区事務組合構成市町消防団の沿革

- 昭和 43 年 10 月 ・埼玉県消防協会より特別優良消防団として表彰される。
- 昭和 47 年 7 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部が設立される。
・初代支部長に高山伊英司氏（大井町消防団長）が就任する。
- 昭和 50 年 2 月 ・上福岡市消防団第2分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞTLG22W改）を更新する。
- 昭和 51 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に柳川豊治氏（上福岡市消防団長）が就任する。
- 昭和 52 年 11 月 ・三芳町消防団第3分団に普通ポンプ車（ニッサンFHN60）を更新する。
- 昭和 54 年 11 月 ・富士見市消防団第2分団に普通ポンプ車（ニッサンFH60）を更新する。
- 昭和 55 年 11 月 ・富士見市消防団第1分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞK-KAD52改）を更新する。
・富士見市消防団第4分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞK-KAD52改）を更新する。
・上福岡市消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第4分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する
- 昭和 56 年 11 月 ・富士見市消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
・富士見市消防団第7分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
・上福岡市消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
・大井町消防団第4分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・埼玉県消防操法大会に三芳町消防団第4分団（分団長鈴木英美）が出場する。
- 昭和 57 年 4 月 ・富士見市消防団長に金子昇氏が就任する。
10 月 ・富士見市消防団第6分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
11 月 ・大井町消防団第3分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第1分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第2分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
- 昭和 58 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に塩野清市氏（大井町消防団長）が就任する。
・富士見市消防団長に林三喜氏が就任する。
・上福岡市消防団長に土屋浩氏が就任する。
・三芳町消防団長に高山敏光氏が就任する。
10 月 ・富士見市消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンM-FG161）を更新する
・大井町消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンM-FG161）を更新する
- 昭和 59 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に林三喜氏（富士見市消防団長）が就任する。
・上福岡市消防団長に野沢健司氏が就任する。
・大井町消防団長に柿沼正作氏が就任する。
・三芳町消防団長に鈴木英美氏が就任する。
- 昭和 60 年 3 月 ・三芳町上富1909-1に三芳町消防団第1分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 昭和 60 年 3 月 ・富士見市消防団第8分団に普通ポンプ車（いすゞP-NKR57E2N改）を更新する。
・上福岡市消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞP-NKR57E2N改）を更新する。
・大井町消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞP-NKR57E2N改）を更新する。
4 月 ・上福岡市消防団長に宮崎昭之助氏が就任する。

- 昭和 61 年 3 月 ・三芳町藤久保 1032-1 に三芳町消防団第 4 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 4 月 ・大井町消防団長に高山岑男氏が就任する。
・富士見市消防団長に新井幸雄氏が就任する。
・埼玉県消防協会入間東部支部長に高山岑男氏（大井町消防団長）が就任する。
・三芳町消防団長に武田信太郎氏が就任する。
・埼玉県消防操法大会に富士見市消防団第 8 分団（分団長平塚雄一）が出場する。
- 昭和 62 年 3 月 ・上福岡市消防団第 4 分団に普通ポンプ車（いすゞ P-NKR58E2N 改）を更新する。
・富士見市消防団第 9 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ P-NKR55E 改）を更新する。
- 4 月 ・上福岡市消防団長に野沢裕司氏が就任する。
・消防長長官より大井町消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 10 月 ・三芳町竹間沢 877-1 に三芳町消防団第 5 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 昭和 63 年 3 月 ・大井町消防団第 2 分団に普通ポンプ車（いすゞ P-NKR58E2N 改）を更新する。
- 4 月 ・大井町消防団長に神木洋寿氏が就任する。
・三芳町消防団長に池上実氏が就任する。
・埼玉県消防協会入間東部支部長に新井幸雄氏（富士見市消防団長）が就任する。
- 平成 元年 4 月 ・上福岡市消防団長に奥住良蔵氏が就任する。
- 平成 2 年 3 月 ・上福岡市消防団第 2 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ P-NHR55E 改）を更新する。
・三芳町消防団第 3 分団に普通ポンプ車（いすゞ FNN60）を更新する。
- 4 月 ・富士見市消防団長に深井平次氏が就任する。
・大井町消防団長に内田嘉紀氏が就任する。
・三芳町消防団長に久保義則氏が就任する。
・埼玉県消防協会入間東部支部長に深井平次氏（富士見市消防団長）が就任する。
- 平成 3 年 4 月 ・上福岡市消防団長に谷田富男氏が就任する。
・三芳町消防団長に内野登氏が就任する。
- 平成 4 年 3 月 ・三芳町消防団第 4 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
- 4 月 ・大井町消防団長に有山茂氏が就任する。
- 5 月 ・三芳町北永井 286-7 に三芳町消防団第 3 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 8 月 ・埼玉県消防操法大会に上福岡市消防団第 1 分団（分団長岸沢七郎）が出場する。
- 平成 5 年 3 月 ・消防庁長官より三芳町消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 10 月 ・富士見市消防団第 2 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
・上福岡市消防団第 5 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
・三芳町消防団第 5 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
- 平成 6 年 3 月 ・三芳町消防団第 1 分団に普通ポンプ車（ニッサン U-LG2YH41 改）を更新する。
- 4 月 ・富士見市消防団長に鈴木光男氏が就任する。
・上福岡市消防団長に吉野公一氏が就任する。
・大井町消防団長に島田和一氏が就任する。
・三芳町消防団長に田畑忠良氏が就任する。
・埼玉県消防協会入間東部支部長に鈴木光男氏（富士見市消防団長）が就任する。
- 10 月 ・富士見市消防団第 1 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ U-NHR69C 改）を更新する。
・富士見市消防団第 4 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ U-NHR69C 改）を更新する。
・上福岡市消防団第 3 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE538B 改）を更新する。
・三芳町消防団第 2 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE538B 改）を更新する。

- 平成 7 年 9 月 ・富士見市消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタGB-YY201改）を更新する。
 ・富士見市消防団第7分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタGB-YY201改）を更新する。
 ・大井町消防団第4分団に普通ポンプ車（ニッサンKC-AKR71GN改）を更新する。
 ・大井町武蔵野1434-1に大井町消防団第5分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 平成 8 年 3 月 ・三芳町上富188-4に三芳町消防団第2分団車庫（鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 4 月 ・上福岡市消防団長に岡本敏雄氏が就任する。
 ・大井町消防団長に小室長司氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に山田政弘氏が就任する。
 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に山田政弘氏（三芳町消防団長）が就任する。
 12 月 ・大井町消防団第3分団に普通ポンプ車（三菱KC-FE538B改）を更新する。
- 平成 9 年 3 月 ・大井町亀久保1086-1に大井町消防団第3分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 9 月 ・日本消防協会より富士見市消防団第6分団に小型動力ポンプ車（ニッサンGB-SK2F23改）が寄贈され更新する。
- 平成 10 年 3 月 ・消防庁長官より富士見市消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
 4 月 ・富士見市消防団長に新井康之氏が就任する。
 ・上福岡市消防団長に近藤宏明氏が就任する。
 ・大井町消防団長に鈴木潔氏が就任する。
 6 月 ・大井町消防団第5分団に普通ポンプ車（いすゞNKR71G改）を更新する。
 8 月 ・埼玉県消防操法大会に大井町消防団第4分団（分団長有山康夫）が出場する。
 9 月 ・富士見市消防団第5分団に普通ポンプ車（いすゞNKR71G改）を更新する。
- 平成 12 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に近藤宏明氏（上福岡市消防団長）が就任する。
 ・富士見市消防団長に平塚雄一氏が就任する。
 ・大井町消防団長に柿沼佳保氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に池上正明氏が就任する。
 6 月 ・富士見市消防団第8分団に普通ポンプ車（いすゞKK-NKR71GN改）を更新する。
 ・上福岡市消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞKK-NKR71GN改）を更新する。
 ・大井町消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞKK-NKR71GN改）を更新する。
- 平成 13 年 3 月 ・富士見市下南畑96-1に富士見市消防団第5分団車庫（軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 ・大井町大井2-4-8に大井町消防団第1分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 平成 14 年 2 月 ・上福岡市福岡新田107-4に上福岡市消防団第3分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に平塚雄一氏（富士見市消防団長）が就任する。
 ・上福岡市消防団長に宮寺康夫氏が就任する。
 ・大井町消防団長に浅見伸明氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に林伊佐雄氏が就任する。
- 平成 15 年 2 月 ・上福岡市消防団第4分団に普通ポンプ車（日野KK-XZU331M）を更新する。

- 平成 16 年 2 月 ・大井町消防団第 2 分団に普通ポンプ車（日野 K K－X Z U 3 3 1 M）を更新する。
 ・上福岡市駒林 1 0 3－2 に上福岡市消防団第 4 分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に宮寺康夫氏（上福岡市消防団長）が就任する。
 ・富士見市消防団長に齊藤隆浩氏が就任する。
 ・大井町消防団長に有山康夫氏が就任する。
 ・富士見市消防団女性消防団員の入団に伴う辞令交付式を実施する。
 ・埼玉県消防操法大会に三芳町消防団が出場する。
 ・上福岡市消防団女性消防団員の入団に伴う辞令交付式を実施する。
 ・三芳町消防団にラッパ隊が発足する。
- 平成 17 年 2 月 ・大井町苗間 3 7 1－1 に大井町消防団第 2 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 ・日本消防協会より三芳町消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 3 月 ・上福岡市中央 2－8 8 2－5 3 に上福岡市消防団第 5 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 12 月 ・上福岡市消防団第 2 分団に普通ポンプ車（日野 P D－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
 ・三芳町消防団第 3 分団に普通ポンプ車（日野 P D－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
- 平成 18 年 2 月 ・平成 17 年 10 月 1 日に構成市町の上福岡市と大井町の廃置分合により、ふじみ野市が誕生した事に伴い、ふじみ野市消防団を発足する。
 ・三芳町消防団第 4 分団に普通ポンプ車（日野 P D－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
- 3 月 ・富士見市水子 1 7 8 3－2 に、富士見市消防団第 7 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 4 月 ・ふじみ野市消防団長に宮寺康夫氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に荻原章弘氏が就任する。
 ・三芳町消防団女性消防団員の入団に伴う辞令交付式を実施する。
- 9 月 ・三芳町消防団第 5 分団に普通ポンプ車（日野 P D－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
- 平成 19 年 2 月 ・ふじみ野市築地 1－2－11 にふじみ野市消防団上福岡第 2 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 3 月 ・消防庁長官よりふじみ野市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- 平成 20 年 3 月 ・ふじみ野市川崎 1 7 4－10 にふじみ野市消防団上福岡第 1 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に長谷川清行氏（三芳町消防団長）が就任する。
 ・富士見市消防団長に金子光治氏が就任する。
 ・ふじみ野市消防団長に栗原秋男氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に長谷川清行氏が就任する。
- 平成 21 年 9 月 ・富士見市消防団第 2 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
 ・ふじみ野市消防団上福岡第 5 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
- 平成 22 年 3 月 ・三芳町消防団第 1 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
 ・ふじみ野市鶴ヶ岡 2－9 0－2 にふじみ野市消防団大井第 4 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に金子光治氏（富士見市消防団長）が就任する。
 ・三芳町消防団長に高山誠二氏が就任する。
- 8 月 ・埼玉県消防操法大会にふじみ野市消防団が出場する。
- 10 月 ・富士見市消防団第 1 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
 ・富士見市消防団第 4 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
 ・ふじみ野市消防団上福岡第 3 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。
 ・三芳町消防団第 2 分団に普通ポンプ車（日野 B D G－X Z U 3 3 4 M）を更新する。

- 平成 23 年 3 月 ・ 富士見市鶴馬 1 9 3 2 - 8 に富士見市消防団第 2 分団車庫（木造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 8 月 ・ 富士見市消防団第 6 分団に普通ポンプ車（日野 BDG-XZU334M）を更新する。
- ・ ふじみ野市消防団大井第 4 分団に普通ポンプ車（日野 BDG-XZU334M）を更新する。
- 平成 24 年 3 月 ・ 富士見市勝瀬 7 3 4 - 3 に富士見市消防団第 1 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に鈴木章記氏（三芳町消防団長）が就任する。
- ・ 富士見市消防団長に池田拓也氏が就任する。
- ・ ふじみ野市消防団長に岸澤一彦氏が就任する。
- ・ 三芳町消防団長に鈴木章記氏が就任する。
- 10 月 ・ 富士見市消防団第 3 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU640M）を更新する。
- ・ ふじみ野市消防団大井第 3 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU640M）を更新する。
- 平成 25 年 3 月 ・ 富士見市東大久保 8 3 - 5 番地に富士見市消防団第 4 分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 9 月 ・ 富士見市消防団第 7 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU640M）を更新する。
- ・ ふじみ野市消防団大井第 5 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU640M）を更新する。
- 平成 26 年 2 月 ・ 三芳町消防団に機能別団員を発足する。
- 3 月 ・ 富士見市下南畑 1 1 4 8 - 2 に富士見市消防団第 6 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に池田拓也氏（富士見市消防団長）が就任する。
- ・ ふじみ野市消防団長に野ロー也氏が就任する。
- 9 月 ・ 富士見市消防団第 5 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU600M）を更新する。
- 平成 27 年 2 月 ・ 消防庁長官より三芳町消防団が優良消防団として消防団等地域活動表彰を受賞する。
- 3 月 ・ 消防長長官より三芳町消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- ・ 富士見市鶴馬 2 - 3 0 6 4 - 4 に富士見市消防団第 3 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・ 三芳町消防団長に鈴木紀啓氏が就任する。
- ・ ふじみ野市消防団の分団名称を統一するため、ふじみ野市消防団第 1 分団から第 10 分団までに変更する。
- 8 月 ・ ふじみ野市消防団第 8 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU640M）を更新する。
- 10 月 ・ 富士見市消防団に機能別団員を発足する。
- 平成 28 年 4 月 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に野ロー也氏（ふじみ野市消防団長）が就任する。
- ・ 富士見市消防団長に横山政幸氏が就任する。
- 8 月 ・ 埼玉県消防操法大会に富士見市消防団が出場する。
- 11 月 ・ ふじみ野市消防団第 3 分団に普通ポンプ車（日野 TKG-XZU640M）を更新する。
- 平成 29 年 2 月 ・ 日本消防協会会長が来庁し、三芳町大規模倉庫火災の消火活動に対し激励を受ける。
- 3 月 ・ 消防長長官より富士見市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- ・ 消防庁長官より富士見市消防団が優良消防団として消防団等地域活動表彰を受賞する。
- ・ 富士見市東みずほ台 2 - 1 7 に富士見市消防団第 8 分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 4 月 ・ 三芳町消防団長に清水邦宏氏が就任する。
- 11 月 ・ 富士見市消防団第 8 分団に普通ポンプ車（日野 TPG-XZU640M）を更新する。
- 平成 30 年 3 月 ・ ふじみ野市駒林元町 1 - 7 - 4 にふじみ野市消防団第 6 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に横山政幸氏（富士見市消防団長）が就任する。
- ・ ふじみ野市消防団長に木村宏氏が就任する。

- 平成 31 年 4 月 ・ 三芳町消防団長に鈴木秀幸氏が就任する。
- 令和 元 年 10 月 ・ ふじみ野市消防団に機能別団員を発足する。
- 令和 2 年 3 月 ・ 総務大臣より三芳町消防団へ団員の確保等に積極的に取り組む消防団として感謝状が贈呈される。
・ 日本消防協会よりふじみ野市消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 4 月 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に鈴木秀幸氏（三芳町消防団長）が就任する。
・ 富士見市消防団長に吉田和彦氏が就任する。
- 10 月 ・ ふじみ野市消防団第6分団に普通ポンプ車（トヨタLDF-KDY231改）を更新する。
- 10 月 ・ 三芳町上富1909-1に三芳町消防団第1分団車庫（軽量鉄骨造鋼板折板葺平屋建）が完成する。
- 令和 3 年 3 月 ・ 総務大臣よりふじみ野市消防団へ団員の確保等に積極的に取り組む消防団として感謝状が贈呈される。
- 10 月 ・ ふじみ野市消防団第7分団に普通ポンプ車（トヨタLDF-KDY231改）を更新する。
- 10 月 ・ 三芳町竹間沢877に三芳町消防団第5分団車庫（軽量鉄骨造鋼板折板葺平屋建）が完成する。
- 令和 4 年 4 月 ・ ふじみ野市消防団長に島田智之氏が就任する。
・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に島田智之氏（ふじみ野市消防団長）が就任する。
- 10 月 ・ ふじみ野市消防団第4分団に普通ポンプ車（トヨタ3BF-TRY230改）を更新する。
- 令和 5 年 3 月 ・ 日本消防協会より富士見市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- 4 月 ・ 三芳町消防団長に小山幸宏氏が就任する。
- 10 月 ・ 全国女性消防操法大会に富士見市・ふじみ野市・三芳町各消防団に所属する女性消防団員により編成された入間東部女性消防隊が出場する。
- 11 月 ・ 三芳町消防団第3分団に普通ポンプ自動車（トヨタ3BF-TRY230改）を更新する。
- 令和 6 年 7 月 ・ 埼玉県消防操法大会に三芳町消防団が出場する。
- 12 月 ・ 三芳町消防団第4分団に普通ポンプ自動車（トヨタ3BF-TRY230改）を更新する。
- 令和 7 年 3 月 ・ 日本消防協会よりふじみ野市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- 4 月 ・ 三芳町消防団長に鈴木信成氏が就任する。
- 10 月 ・ 三芳町消防団第5分団に普通ポンプ自動車（トヨタ3BF-TRY230改）を更新する。
- 令和 8 年 4 月 ・ 富士見市消防団長に羽石貴裕氏が就任する。

消防団諮問委員（令和８年４月１日現在）

富士見市	ふじみ野市	三芳町
金子 光 治	◎ 岸 澤 一 彦	○ 鈴 木 紀 啓
池 田 拓 也	野 口 一 也	清 水 邦 宏
横 山 政 幸	● 木 村 宏	鈴 木 秀 幸
● 吉 田 和 彦		● 小 山 幸 宏

◎会長 ○会長職務代理 ●前消防団長

消防団長（令和８年４月１日現在）

	氏名	就任年月日
富士見市	羽 石 貴 裕	令和８年４月１日
ふじみ野市	島 田 智 之	令和４年４月１日
三芳町	鈴 木 信 成	令和７年４月１日

消防団員の定員と実員数

単位：人

令和8年4月1日現在

	総 員	富士見市消防団	ふじみ野市消防団	三芳町消防団
定 員	374	129	135	110
実 員	263	78	103	82

消防団員の配置状況

単位：人

令和8年4月1日現在

配 属		階 級	総 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
総 数 (実 員)			263	3	6	22	22	22	25	24	139
富士見市消防団	本 部		23	1	2	11			1	1	7
	第 1 分 団		10				1	1	1	1	6
	第 2 分 団		6				1	1	1	1	2
	第 3 分 団		5				1	1	1	1	1
	第 4 分 団		9				1	1	1	1	5
	第 5 分 団		7				1	1	1	1	3
	第 6 分 団		6				1	1	1	1	2
	第 7 分 団		6				1	1	1	1	2
	第 8 分 団		6				1	1	1	1	2
ふじみ野市消防団	本 部		36	1	2	8			1	1	23
	第 1 分 団		6				1	1	1	1	2
	第 2 分 団		8				1	1	1	1	4
	第 3 分 団		-								
	第 4 分 団		7				1	1	1	1	3
	第 5 分 団		9				1	1	1	1	5
	第 6 分 団		7				1	1	1	1	3
	第 7 分 団		9				1	1	1	1	5
	第 8 分 団		11				1	1	1	1	7
	第 9 分 団		6				1	1	1	1	2
	第 10 分 団		4				1	1	1	1	
三芳町消防団	本 部		25	1	2	3			1		18
	第 1 分 団		15				1	1	1	1	11
	第 2 分 団		15				1	1	1	1	11
	第 3 分 団		11				1	1	1	1	7
	第 4 分 団		11				1	1	1	1	7
	第 5 分 団		5				1	1	1	1	1

消防団員の年齢

単位：人

令和8年4月1日現在

階級 年齢	総 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
総数	263	3	6	22	22	22	25	24	139
平均年齢	38.2	50.3	47.8	42.6	39.5	38.0	40.4	36.8	36.5
18歳	1								1
19歳	－								
20歳	2								2
21歳	－								
22歳	1								1
23歳	2								2
24歳	2								2
25歳	4							1	3
26歳	2								2
27歳	4								4
28歳	7								7
29歳	9					1	1		7
30歳	7							1	6
31歳	9				1		1	1	6
32歳	9					1		2	6
33歳	13			1	2	1			9
34歳	18				2	3	1	6	6
35歳	10						3	1	6
36歳	10				1	1	1	1	6
37歳	13				3	1	1	2	6
38歳	18				2	6	2	2	6
39歳	6			1			2		3
40歳	18			4	1	1	1	1	10
41歳	16			4	2	2	2	2	4
42歳	12			2	2	1	2	2	3
43歳	9			2	2	2	1		2
44歳	14		1	3	1	2	4	1	2
45歳	3								3
46歳	5			1					4
47歳	7	1		1	2		1		2
48歳	7		3	1					3
49歳	3		1	1					1
50歳	6		1	1					4
51歳	3	1			1				1
52歳	2								2
53歳	3	1							2
54歳	1								1
55歳	1						1		
56歳	1								1
57歳	3						1		2
58歳	2							1	1
59歳	－								

消防団員の勤続年数

単位：人

令和8年4月1日現在

階級 年数	総 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
総数	263	3	6	22	22	22	25	24	139
平均勤続年数	7.9	20.3	18.5	16.1	12.8	11.6	10.0	8.4	4.1
1年未満	19								19
1 年	20							1	19
2 年	19								19
3 年	19								19
4 年	14								14
5 年	8							1	7
6 年	18				1	1	2	4	10
7 年	15						2	3	10
8 年	12				1	2	3	2	4
9 年	15				1	2	4	3	5
10 年	15				4	2	1	4	4
11 年	16					2	6	5	3
12 年	17			4	2	4	5	1	1
13 年	12	1		2	2	5			2
14 年	7				4	1	1		1
15 年	12			5	3	2	1		1
16 年	3		1		1	1			
17 年	5			3	2				
18 年	7		2	3	1				1
19 年	3		2	1					
20 年	3			3					
21 年	2		1	1					
22 年	－								
23 年	1	1							
24 年	－								
25 年	1	1							
26 年	－								
27 年	－								
28 年	－								
29 年	－								
30 年	－								

消防団車両現勢

令和8年4月1日現在

区分 分団名		車 型 名 式	登録番号	ポンプ 級 別	種別	登録年月日
富士見市消防団	第 1 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 83-03	A2級	普通ポンプ自動車	H22. 10. 5
	第 2 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 75-58	A2級	普通ポンプ自動車	H21. 9. 10
	第 3 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 800 す 97-75	A2級	普通ポンプ自動車	H24. 10. 26
	第 4 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 83-04	A2級	普通ポンプ自動車	H22. 10. 5
	第 5 分 団	日野 TKG-XZU600Z	所沢 830 せ 51-19	A2級	普通ポンプ自動車	H26. 8. 27
	第 6 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 89-03	A2級	普通ポンプ自動車	H23. 8. 24
	第 7 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 71-19	A2級	普通ポンプ自動車	H25. 9. 2
	第 8 分 団	日野 TPG-XZU640M	所沢 830 す 81-19	A2級	普通ポンプ自動車	H29. 11. 9
ふじみ野市消防団	第 1 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 75-59	A2級	普通ポンプ自動車	H21. 9. 10
	第 2 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 89-02	A2級	普通ポンプ自動車	H23. 8. 24
	第 3 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 91-13	A2級	普通ポンプ自動車	H28. 11. 18
	第 4 分 団	トヨタ 3BF-TRY230改	所沢 830 さ 91-14	A2級	普通ポンプ自動車 3.5t未満普通免許対応	R5. 2. 16
	第 5 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 800 す 97-74	A2級	普通ポンプ自動車	H24. 10. 26
	第 6 分 団	トヨタ LDF-KDY231改	所沢 830 さ 91-16	A2級	普通ポンプ自動車 3.5t未満普通免許対応	R2. 10. 20
	第 7 分 団	トヨタ LDF-KDY231改	所沢 830 さ 91-17	A2級	普通ポンプ自動車 3.5t未満普通免許対応	R3. 10. 8
	第 8 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 91-18	A2級	普通ポンプ自動車	H27. 8. 19
	第 9 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 83-02	A2級	普通ポンプ自動車	H22. 10. 5
	第 10 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 91-10	A2級	普通ポンプ自動車	H25. 9. 2
三芳町消防団	第 1 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 830 さ 11-91	A2級	普通ポンプ自動車	H22. 3. 1
	第 2 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 830 す 11-92	A2級	普通ポンプ自動車	H22. 10. 5
	第 3 分 団	トヨタ 3BF-TRY230改	所沢 830 せ 11-93	A2級	普通ポンプ自動車 3.5t未満普通免許対応	R5. 10. 27
	第 4 分 団	トヨタ 3BF-TRY230改	所沢 830 す 11-94	A2級	普通ポンプ自動車 3.5t未満普通免許対応	R6. 11. 19
	第 5 分 団	トヨタ 3BF-TRY230改	所沢 830 す 11-95	A2級	普通ポンプ自動車 3.5t未満普通免許対応	R7. 10. 29

入間東部地区事務組合消防本部

消防本部	356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19	TEL 049(261)6000(代)
消防総務課		TEL 049(261)6004 FAX 049(261)4395 shobo@irumatohbu119.jp
予防課		TEL 049(261)6007 FAX 049(261)4395 yobo-01@irumatohbu119.jp
警防課		TEL 049(261)6659 FAX 049(261)4395 keibo-01@irumatohbu119.jp
救急課		TEL 049(261)6673 FAX 049(261)4395 kyukyu01@irumatohbu119.jp
指揮統制課		TEL 049(261)6031 FAX 049(262)2633 sirei-01@irumatohbu119.jp
西消防署・消防課	356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19	TEL 049(261)5837 FAX 049(261)6037 nishi@irumatohbu119.jp
三芳分署	354-0044 入間郡三芳町北永井617-8	TEL 049(259)2036 FAX 049(259)2139 miyoshi@irumatohbu119.jp
東消防署・消防課	354-0021 富士見市鶴馬1850-1	TEL 049(255)4119 FAX 049(255)2709 higashi@irumatohbu119.jp
富士見分署	354-0011 富士見市水子4060-1	TEL 049(255)4117 FAX 049(255)6739 fujimibunsyo@irumatohbu119.jp
ふじみ野分署	356-0001 ふじみ野市川崎2-7-3	TEL 049(267)0119 FAX 049(267)0116 fujiminobunsyo@irumatohbu119.jp

救急病院案内 049(261)6031(休日・夜間)

火災の問合せ 049(263)0119(音声案内)

<https://www.irumatohbu119.jp>



消 防 年 報

令和7年版

令和8年8月発行

埼玉県ふじみ野市大井中央1丁目1番19号

入間東部地区事務組合消防本部

電話 049(261)6000